

1 円の公式をかきましょう。

円周の長さ = ( 直径 × 円周率 )

円の面積 = ( 半径 × 半径 × 円周率 )

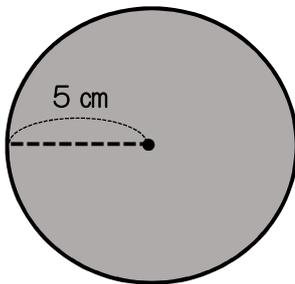
2 円周率を3.14として、半径10cmの円の面積を求めましょう。

(式  $10 \times 10 \times 3.14 = 314$  )

(答え  $314 \text{ cm}^2$  )

3 次の図形の面積を求めましょう。

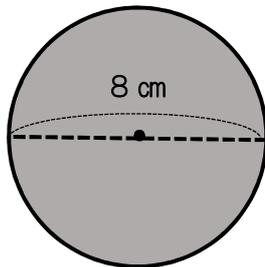
(1)



(式  $5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$  )

(答え  $78.5 \text{ cm}^2$  )

(2)



(式  $4 \times 4 \times 3.14 = 50.24$  )

(答え  $50.24 \text{ cm}^2$  )

4 右の図のように、半径6cmの円を、直径で切った図形について、次のものを求めましょう。

(1) AからBまでの直線の長さ

(式  $6 \times 2 = 12$  )

(答え  $12 \text{ cm}$  )

(2) AからBまでの曲線の長さ

(式  $12 \times 3.14 \div 2 = 18.84$  )

(答え  $18.84 \text{ cm}$  )

(3) この図形のまわりの長さ

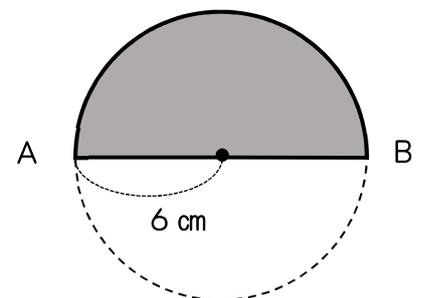
(式  $18.84 + 12 = 30.84$  )

(答え  $30.84 \text{ cm}$  )

(4) この図形の面積

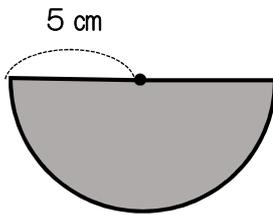
(式  $6 \times 6 \times 3.14 \div 2 = 56.52$  )

(答え  $56.52 \text{ cm}^2$  )



次の図形の面積を求めましょう。

(1)

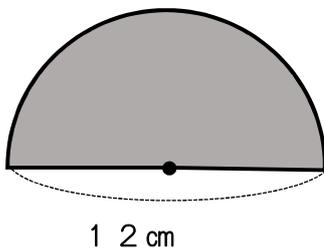


(式  $5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25$  )

(答え  $39.25 \text{ cm}^2$  )

半径 5 cm の円の面積の半分

(2)

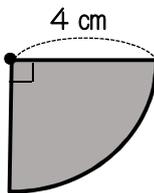


(式  $6 \times 6 \times 3.14 \div 2 = 56.52$  )

(答え  $56.52 \text{ cm}^2$  )

半径 6 cm の円の面積の半分

(3)

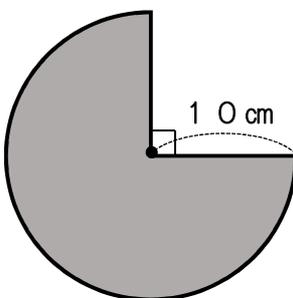


(式  $4 \times 4 \times 3.14 \div 4 = 12.56$  )

(答え  $12.56 \text{ cm}^2$  )

半径 4 cm の円の面積の 4分の1

(4)



式  $10 \times 10 \times 3.14 = 314$   
 $314 \div 4 = 78.5$   
 $314 - 78.5 = 235.5$

または

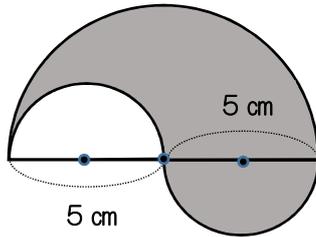
$10 \times 10 \times 3.14 \times \frac{3}{4} = 235.5$

半径 10 cm の円の面積の 4分の1 が欠けているので、円の全体の面積から 4分の1 を引く。  
 または、求める面積は、半径 10 cm の円の全体面積の 4分の3 にあたる。

(答え  $235.5 \text{ cm}^2$  )

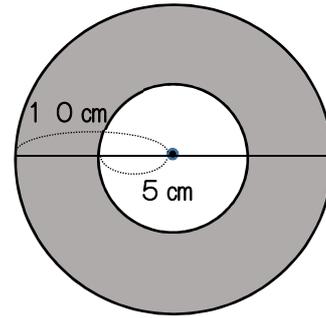
1 色のついた形の面積をもとめましょう。

(1)



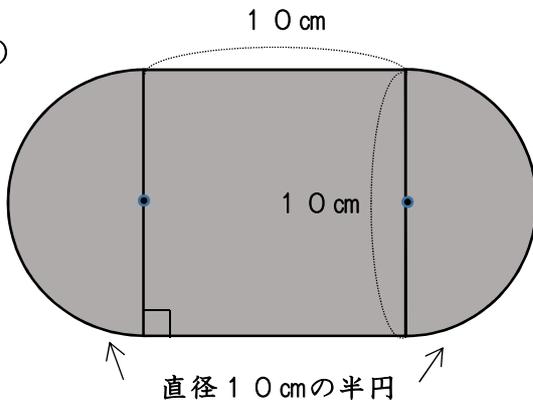
(式  $5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25$ )  
(答え  $39.25 \text{ cm}^2$ )

(2)



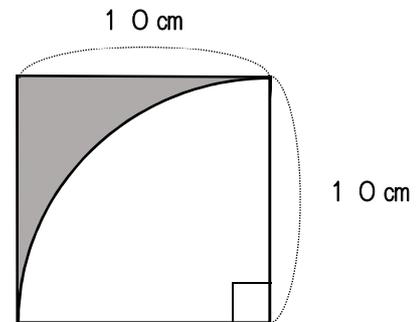
(式  $10 \times 10 \times 3.14 - 5 \times 5 \times 3.14$ )  
(  $= 314 - 78.5 = 235.5$  )  
(答え  $235.5 \text{ cm}^2$ )

(3)



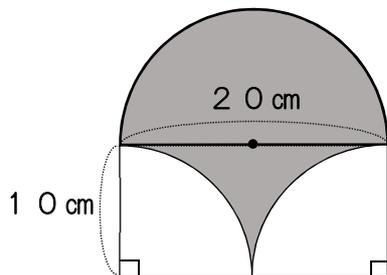
(式  $10 \times 10 + 5 \times 5 \times 3.14$ )  
(  $= 100 + 78.5 = 178.5$  )  
(答え  $178.5 \text{ cm}^2$ )

(4)



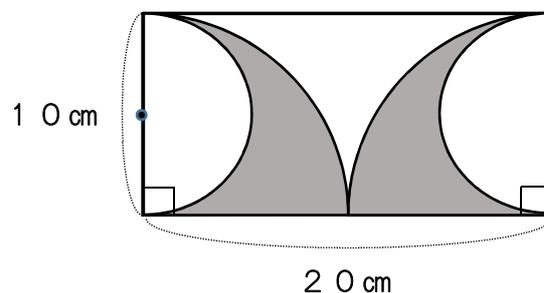
(式  $10 \times 10 - 10 \times 10 \times 3.14 \div 4$ )  
(  $= 100 - 78.5 = 21.5$  )  
(答え  $21.5 \text{ cm}^2$ )

(5)



(式  $10 \times 20 = 200$ )  
(答え  $200 \text{ cm}^2$ )

(6)



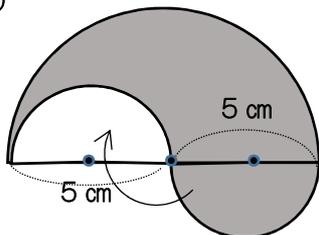
(式  $10 \times 10 \times 3.14 \div 2 - 5 \times 5 \times 3.14$ )  
(  $= 157 - 78.5 = 78.5$  )  
(答え  $78.5 \text{ cm}^2$ )

※ うらにヒントカードがあります。

2-③ ヒントカード

1

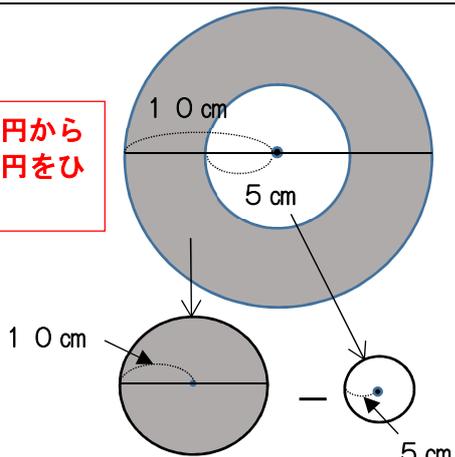
(1)



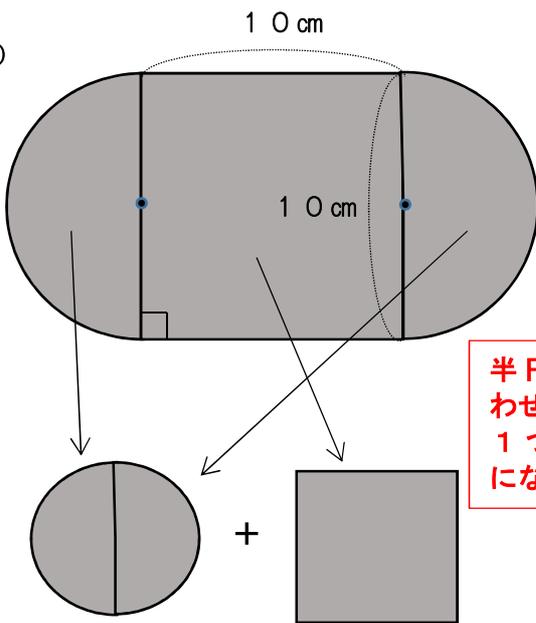
小さい半円を移動させると、大きな半円になる。

(2)

大きい円から小さい円をひく。



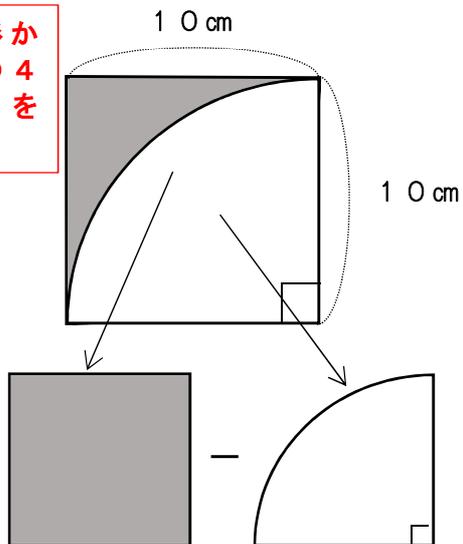
(3)



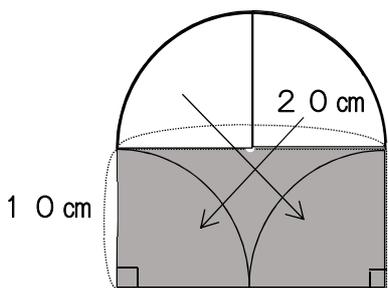
半円を合わせると、1つの円になる。

(4)

正方形から円の4分の1をひく。



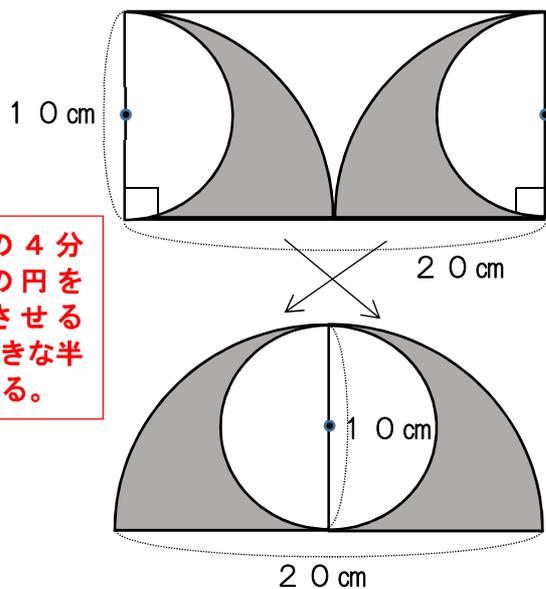
(5)



半円を下に移動させると、長方形になる

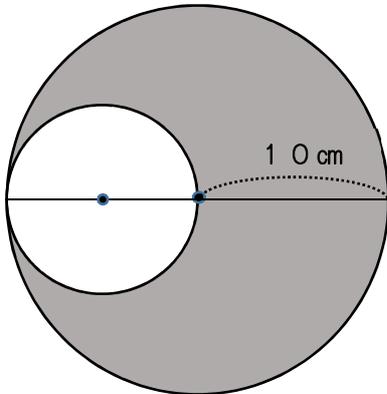
(6)

左右の4分の1の円を移動させると、大きな半円になる。



色のついた形の面積をもとめましょう。

(1)

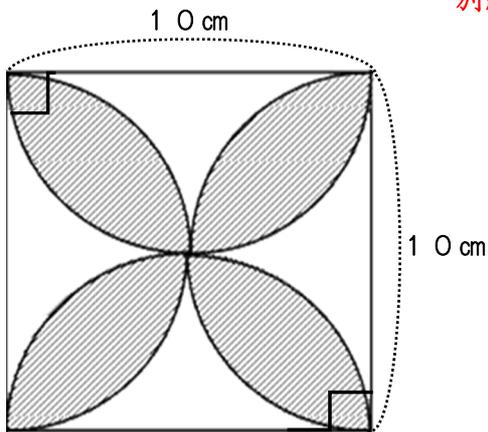


(式  $10 \times 10 \times 3.14 - 5 \times 5 \times 3.14$  )

(  $= 314 - 78.5 = 235.5$  )

(答え  $235.5 \text{ cm}^2$  )

(2)



別紙解答参照

おうぎ形の面積

$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$

直角二等辺三角形の面積

$5 \times 5 \div 2 = 12.5$

葉っぱ半分の面積

$19.625 - 12.5 = 7.125$

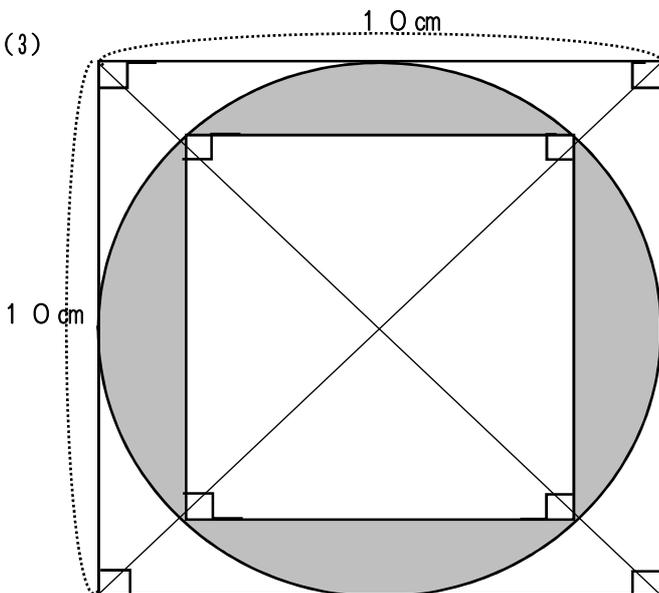
葉っぱ1枚の面積

$7.125 \times 2 = 14.25$

葉っぱ4枚分の面積

$14.25 \times 4 = 57$  (答え  $57 \text{ cm}^2$ )

(3)



別紙解答参照

円の面積

$5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$

円内の正方形の面積

$10 \times 5 \div 2 \times 2 = 50$

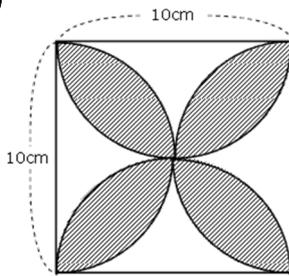
色のついた部分の面積

$78.5 - 50 = 28.5$

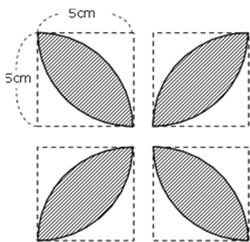
(答え  $28.5 \text{ cm}^2$ )

## 別紙解答

(2)

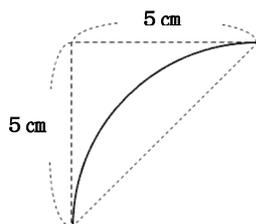
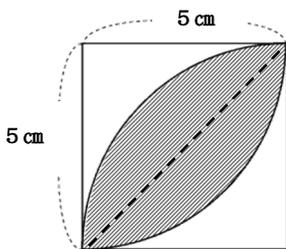


葉っぱが4つの四つ葉型の面積です。  
葉っぱ1枚分の面積を求めて4倍すれば、四つ葉の面積になります。



左の図のように、四つ葉を分けて考えると、葉っぱ1枚が入っている正方形の一辺の長さは、5cmです。

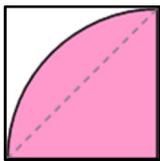
まず、葉っぱ1枚分の面積を求めます。



この葉っぱ型の図形は、おうぎ形と直角三角形できていることがわかります。

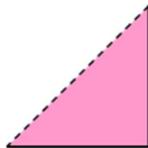
そして、下の図のようにひき算すると、葉っぱの半分の面積が計算できるので、最後にそれを2倍します。

おうぎ形の面積  
円の面積÷4



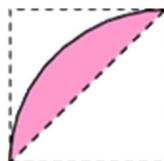
$$\begin{aligned} 5 \times 5 \times 3.14 \div 4 \\ = 19.625 \\ 19.625 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

直角三角形  
底辺×高さ÷2



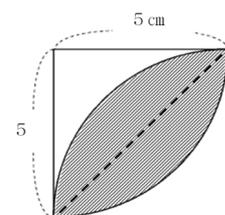
$$\begin{aligned} 5 \times 5 \div 2 \\ = 12.5 \\ 12.5 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

おうぎ形－直角三角形  
(葉っぱの半分の面積)



$$\begin{aligned} 19.625 - 12.5 \\ = 7.125 \\ 7.125 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

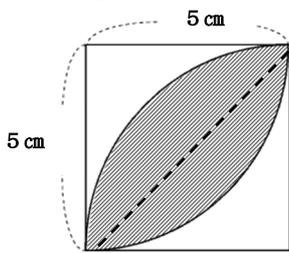
葉っぱ1枚の面積は  
葉っぱの半分の面積×2



$$\begin{aligned} 7.125 \times 2 = 14.25 \\ 14.25 \text{cm}^2 \end{aligned}$$

葉っぱ1枚の面積がわかると、四つ葉の面積は 葉っぱ1枚の面積×4 で求められます。

### 別解 1



1辺5cmの正方形の面積から、左図の白部分の面積を引いて、葉っぱ部分の面積を求める。

(正方形の面積を求める)

$$5 \times 5 = 25$$

(おうぎ形の面積)

$$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$$

(正方形の面積からおうぎ形の面積を引き、白部分1つの面積を求める)

$$25 - 19.625 = 5.375$$

(正方形の面積から白部分2つの面積を引き、葉っぱ部分の面積を求める)

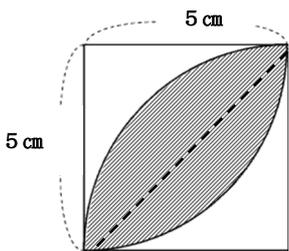
$$25 - 5.375 - 5.375 = 14.25$$

(葉っぱ4つ分)

$$14.25 \times 4 = 57$$

(答え 57cm<sup>2</sup>)

### 別解 2



左図1辺5cmの正方形の面積からおうぎ形の面積を引いて、左図の白部分1つ分の面積を求める。次に、おうぎ形の面積から白部分1つ分の面積を引くと、葉っぱ部分の面積を求める。

(正方形の面積を求める)

$$5 \times 5 = 25$$

(おうぎ形の面積を求める)

$$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$$

(正方形の面積からおうぎ形の面積を引き、白部分1つ分の面積を求める)

$$25 - 19.625 = 5.375$$

(おうぎ形の面積から白部分1つ分の面積を引き、葉っぱ部分の面積を求める)

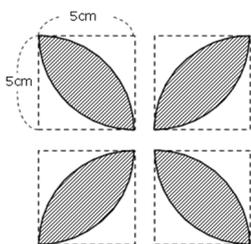
$$19.625 - 5.375 = 14.25$$

(葉っぱ4つ分)

$$14.25 \times 4 = 57$$

(答え 57cm<sup>2</sup>)

### 別解 3



左図1辺5cmの正方形の面積からおうぎ形の面積を引いて、白部分1つ分の面積を求める。1辺10cmの正方形には、白部分が全部で8つあることに着目し、1辺10cmの正方形の面積から白部分8つ分を引き、葉っぱ部分の面積を求める。

(1辺5cmの正方形の面積とおうぎ形の面積を求める)

$$5 \times 5 = 25$$

$$5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625$$

(正方形の面積からおうぎ形の面積を引き、白部分1つ分の面積を求める)

$$25 - 19.625 = 5.375$$

(1辺10cmの正方形における白部分全部の面積を求める)

$$5.375 \times 8 = 43$$

(1辺10cmの正方形の面積から、白部分全部の面積を引き葉っぱ部分の面積を求める)

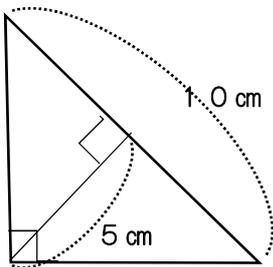
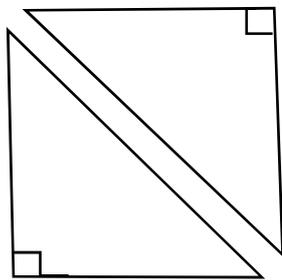
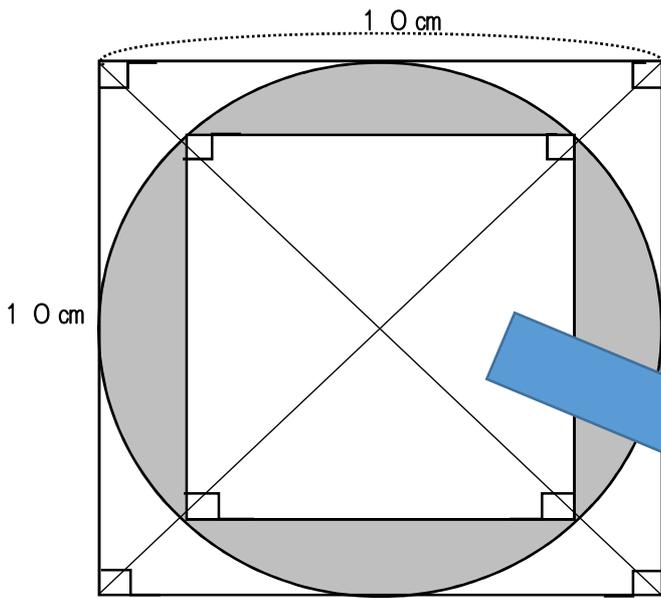
$$10 \times 10 - 43 = 57$$

(答え 57cm<sup>2</sup>)

(3) 解答例 1

直径10cmの円の面積から、円内の正方形の面積を引くと、色のついた部分の面積が求められます。

円内の正方形の面積を求めるときに、この正方形の1辺の長さは分からないので、下図のように、直角二等辺三角形を2つ合わせた形と考えます。



(直径10cmの円の面積を求める)  $5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$

(円内の正方形の面積を求める)

円内の正方形を2つの直角二等辺三角形に分けたときの直角三角形の底辺と高さは左図の通りとなり、正方形の面積は次の通りとなる

$$10 \times 5 \div 2 \times 2 = 50$$

(直径10cmの円の面積から、円内の正方形の面積を引いて

色のついた部分の面積を求める)

$$78.5 - 50 = 28.5$$

(答え 28.5cm<sup>2</sup>)

解答例 2

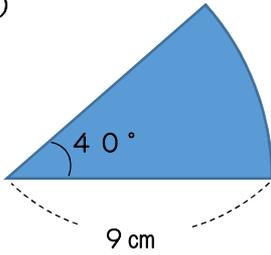
円内の正方形をひし形と考え、ひし形の面積を求める公式を当てはめて、面積を求める。

$$10 \times 10 \div 2 = 50$$

以下、別解1と同じ

1 おうぎ形の面積を求めなさい。

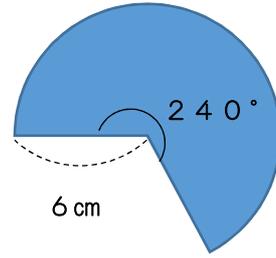
(1)



$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 9 \times 9 \times 3.14 = 254.34 \\ & 254.34 \times \frac{40}{360} = 28.26 \end{aligned}$$

〈答え〉 28.26 cm<sup>2</sup>

(2)

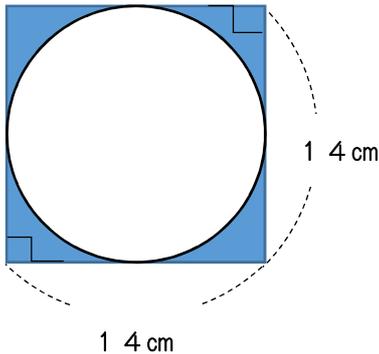


$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 6 \times 6 \times 3.14 = 113.04 \\ & 113.04 \times \frac{240}{360} = 75.36 \end{aligned}$$

〈答え〉 75.36 cm<sup>2</sup>

2 下の図形の色のついた部分の面積を求めなさい。

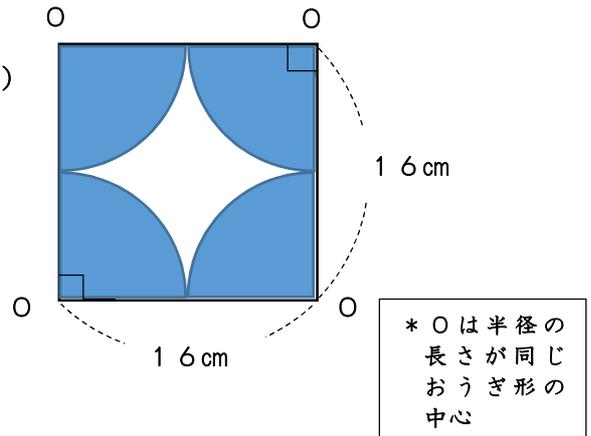
(1)



$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 14 \times 14 - 7 \times 7 \times 3.14 \\ & = 196 - 153.86 \\ & = 42.14 \end{aligned}$$

〈答え〉 42.14 cm<sup>2</sup>

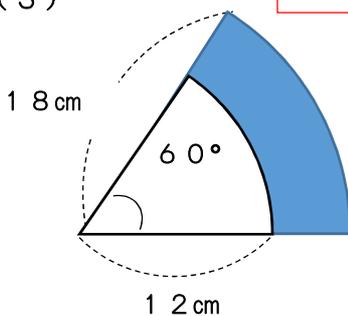
(2)



$$\langle \text{式} \rangle 8 \times 8 \times 3.14 = 200.96$$

〈答え〉 200.96 cm<sup>2</sup>

(3)



正方形の面積から円の面積をひく

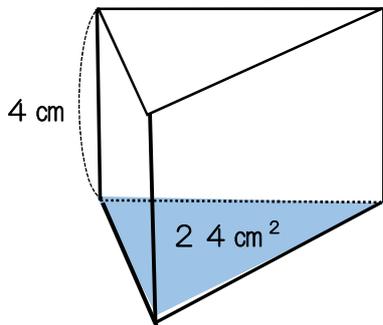
4つのおうぎ形を合わせると1つの円になる

$$\begin{aligned} \langle \text{式} \rangle & 18 \times 18 \times 3.14 \times \frac{1}{6} = 169.56 \\ & 12 \times 12 \times 3.14 \times \frac{1}{6} = 75.36 \\ & 169.56 - 75.36 = 94.2 \end{aligned}$$

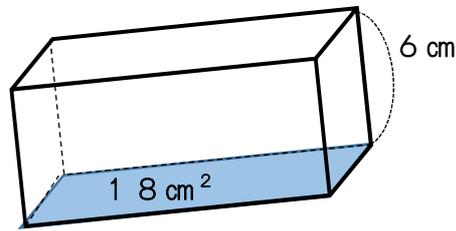
半径18 cmのおうぎ形の面積から、半径12 cmのおうぎ形の面積をひく

〈答え〉 94.2 cm<sup>2</sup>

1 下の角柱の体積を求めましょう。



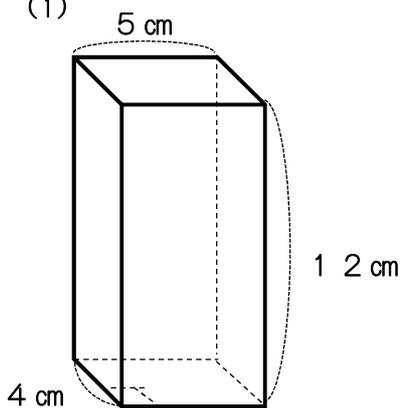
(式  $24 \times 4 = 96$  )  
 (答え  $96 \text{ cm}^3$  )



(式  $18 \times 6 = 108$  )  
 (答え  $108 \text{ cm}^3$  )

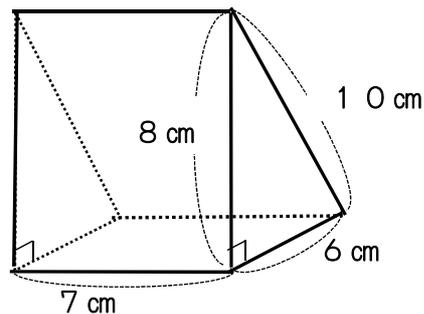
2 下の角柱の体積を求めましょう。

(1)



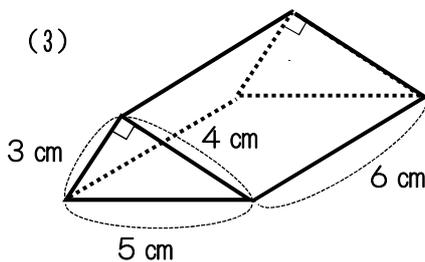
(式  $4 \times 5 \times 12 = 240$  )  
 (答え  $240 \text{ cm}^3$  )

(2)



(式  $6 \times 8 \div 2 \times 7 = 168$  )  
 (答え  $168 \text{ cm}^3$  )

(3)



(式  $3 \times 4 \div 2 \times 6 = 36$  )  
 (答え  $36 \text{ cm}^3$  )

3 次の角柱の底面積や高さを求めましょう。

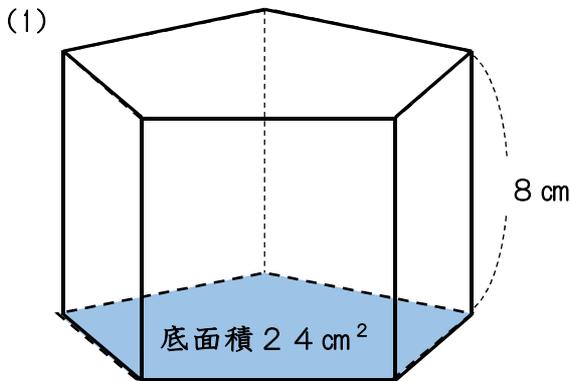
(1) 体積が  $36 \text{ cm}^3$  で、高さが  $4 \text{ cm}$  の三角柱の底面積 (答え  $9 \text{ cm}^2$  )

\* 底面積  $\times$  高さ = 体積なので、底面積 = 体積  $\div$  高さ ( $36 \div 4 = 9$ )

(2) 体積が  $144 \text{ cm}^3$  で、底面積が  $24 \text{ cm}^2$  の五角柱の高さ (答え  $6 \text{ cm}$  )

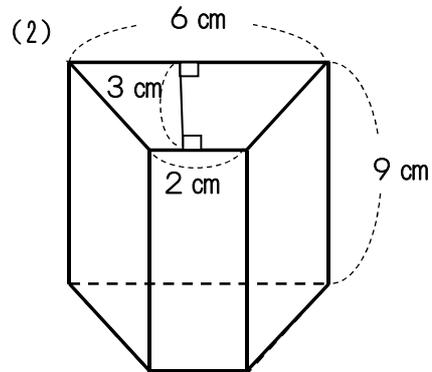
\* 底面積  $\times$  高さ = 体積なので、高さ = 体積  $\div$  底面積 ( $144 \div 24 = 6$ )

1 下の角柱の体積を求めましょう。



(式  $24 \times 8 = 192$  )

(答え  $192 \text{ cm}^3$  )

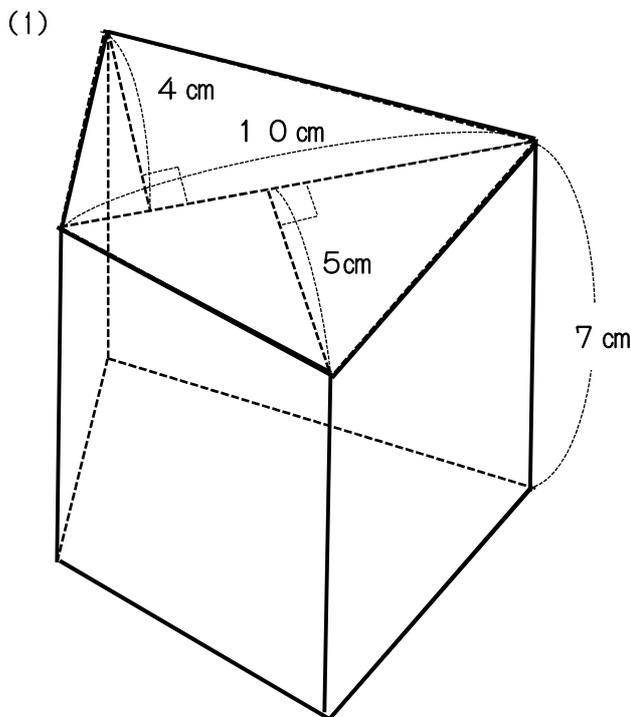


(式  $(2 + 6) \times 3 \div 2 \times 9 = 108$  )

底面は台形

(答え  $108 \text{ cm}^3$  )

2 次の立体の体積を求めましょう。

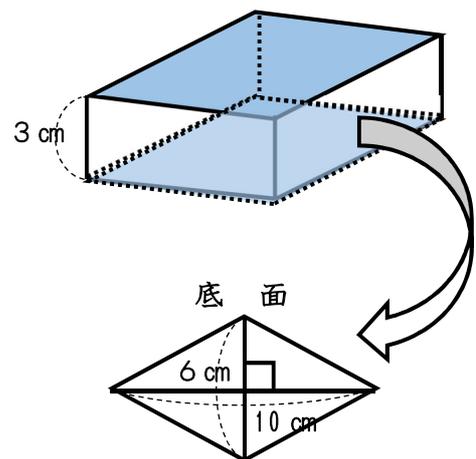


(式  $(10 \times 4 \div 2 + 10 \times 5 \div 2) \times 7$   
 $= 45 \times 7 = 315$ )

(答え  $315 \text{ cm}^3$ )

底面は、2つの三角形を合わせた図形

(2) 下のような底面がひし形の角柱があります。体積を求めましょう。

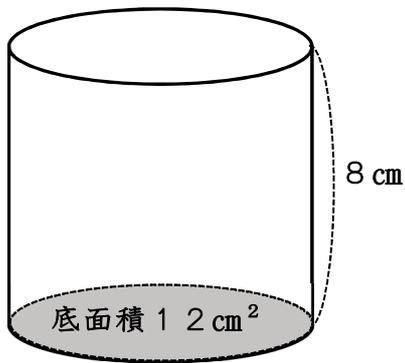


(式  $10 \times 6 \div 2 \times 3 = 90$  )

(答え  $90 \text{ cm}^3$ )

1 下の円柱の体積を求めましょう。

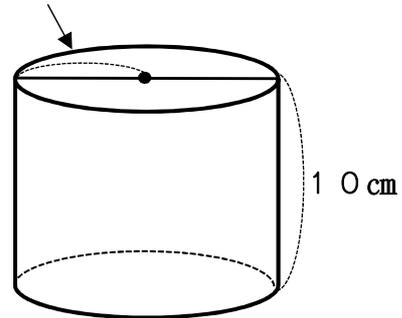
(1)



(式  $12 \times 8 = 96$  )

(答え  $96 \text{ cm}^3$  )

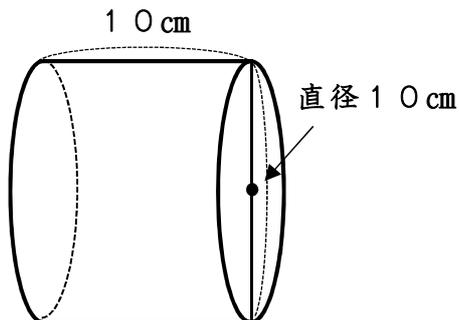
(2) 半径 4 cm



(式  $4 \times 4 \times 3.14 \times 10 = 502.4$  )

(答え  $502.4 \text{ cm}^3$  )

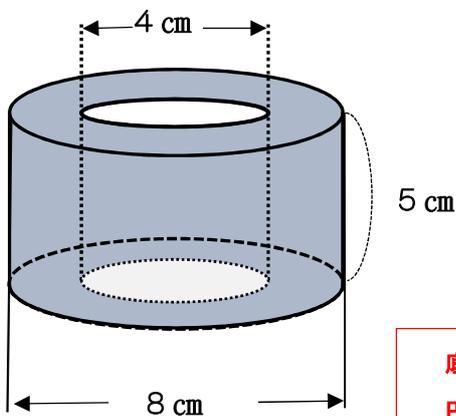
2 下の円柱の体積を求めましょう。



(式  $5 \times 5 \times 3.14 \times 10 = 785$  )

(答え  $785 \text{ cm}^3$  )

3 下のような立体の体積を求めましょう。



(式  $(4 \times 4 \times 3.14 - 2 \times 2 \times 3.14) \times 5$

$= (50.24 - 12.56) \times 5$

$= 37.68 \times 5$

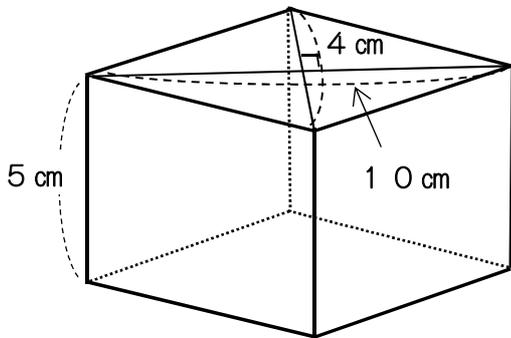
$= 188.4$  )

底面積は大きい円から小さい円をひいて求めます。

(答え  $188.4 \text{ cm}^3$  )

1 下の角柱の体積を求めましょう。

(1)



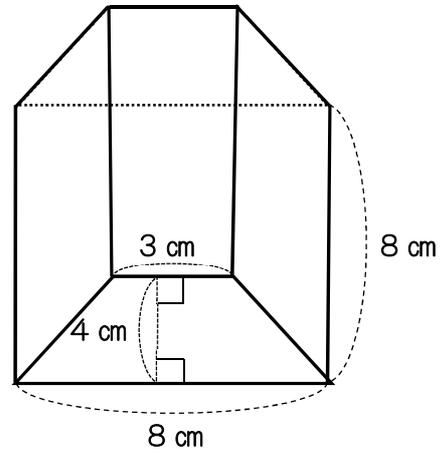
(底面はひし形)

(式  $10 \times 4 \div 2 \times 5 = 100$  )

(答え  $100 \text{ cm}^3$  )

ひし形の面積を求める公式を適用

(2)



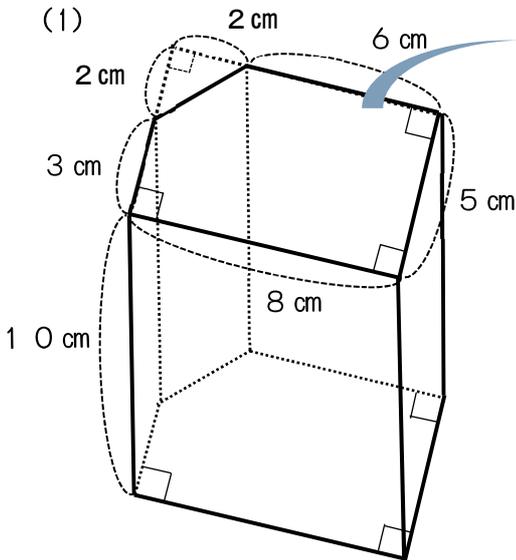
(式  $(3 + 8) \times 4 \div 2 \times 8 = 176$  )

(答え  $176 \text{ cm}^3$  )

底面は台形なので、台形の面積を求める公式を適用

2 次の立体の体積を求めましょう。

(1)



(式  $5 \times 8 - 2 \times 2 \div 2 = 38$

$38 \times 10 = 380$ )

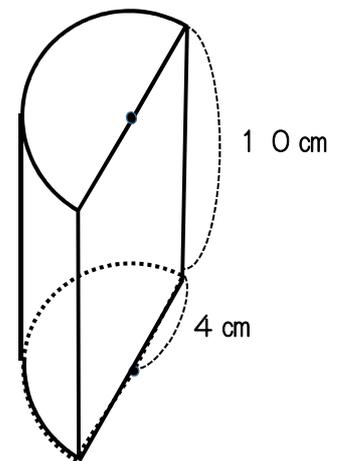
(答え  $380 \text{ cm}^3$  )

底面は、長方形の一部が欠けた形になっているので、長方形の面積から、欠けている直角二等辺三角形の面積を引いて底面積を求める。

または、底面を長方形と台形に分けて、底面積を求めることもできる。

底面を長方形と台形に分けて・・・  
 $5 \times 6 = 30$ 、 $(3 + 5) \times 2 \div 2 = 8$ 、 $30 + 8 = 38$   
 $38 \times 10 = 380$  (答え  $380 \text{ cm}^3$ )

(2)

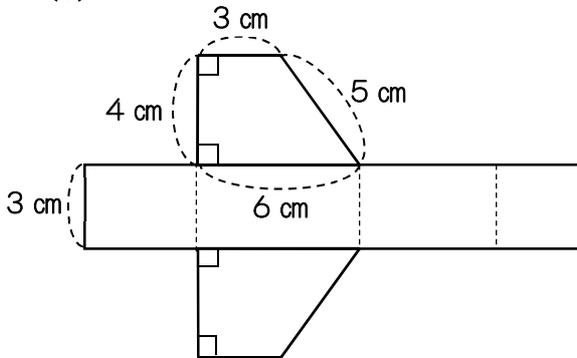


(式  $4 \times 4 \times 3.14 \div 2 \times 10 = 251.2$  )

(答え  $251.2 \text{ cm}^3$  )

1 次の図は角柱や円柱の展開図です。組み立てたときの体積を求めなさい。

(1)

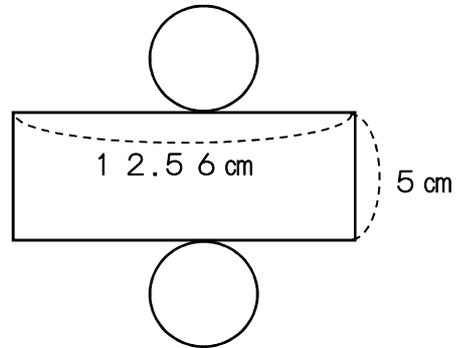


(式  $(3 + 6) \times 4 \div 2 \times 3 = 54$  )

(答え  $54 \text{ cm}^3$  )

底面は台形であり、底面積は台形の面積を求める公式を適用する。角柱の高さは3 cmである。

(2)



(式  $12.56 \div 3.14 \div 2 = 2$  )

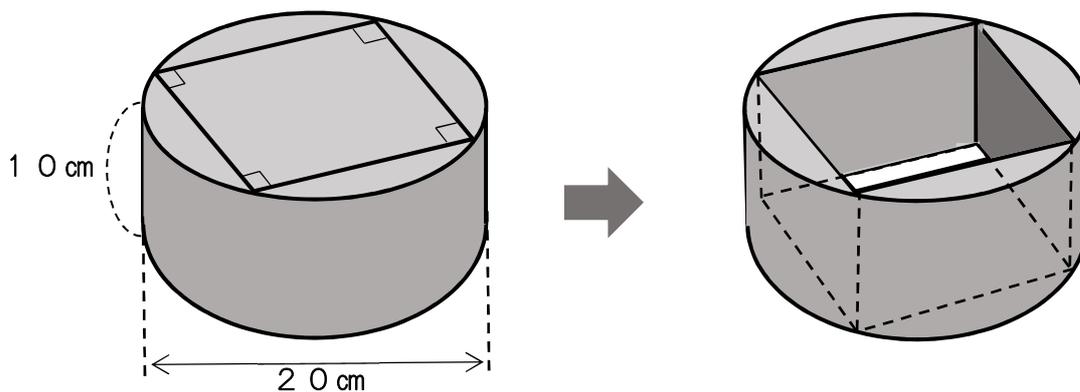
$2 \times 2 \times 3.14 \times 5 = 62.8$  )

答え (  $62.8 \text{ cm}^3$  )

円周=直径×3.14なので、底面である円の半径は、円周÷3.14÷2で求められる。12.56 cmは底面の円周の長さでもある。

2 直径が20 cmで、高さが10 cmの円柱の形をした材木から、底面が正方形の四角柱を次の図のように切り出します。

切り出したあとに残った部分の体積は何  $\text{cm}^3$  でしょうか。



(式  $10 \times 10 \times 3.14 \times 10 = 3140$   
 $20 \times 20 \div 2 \times 10 = 2000$   
 $3140 - 2000 = 1140$  )

(答え  $1140 \text{ cm}^3$  )

切り出す四角柱の底面は正方形であり、底面積を求めるには、ひし形の面積を求める公式(対角線×対角線÷2)を適用する

1 下の表は、6年1組と6年2組の男子のソフトボール投げの記録です。

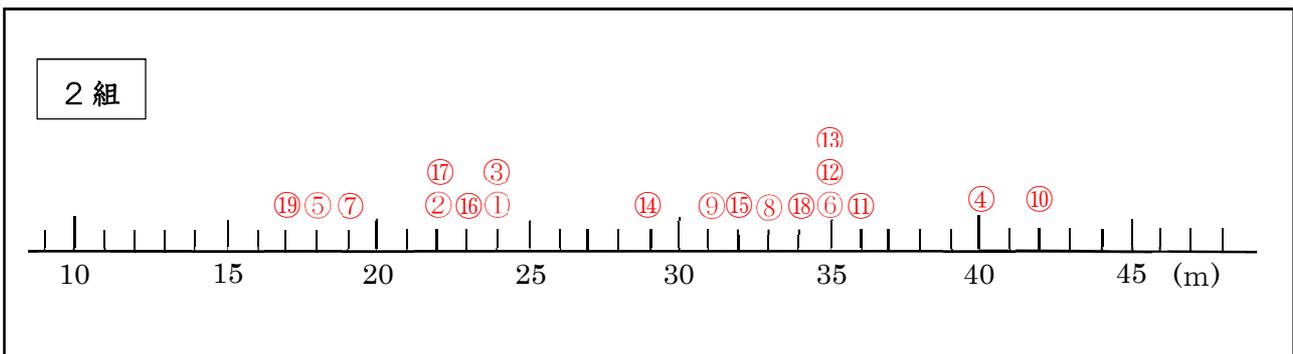
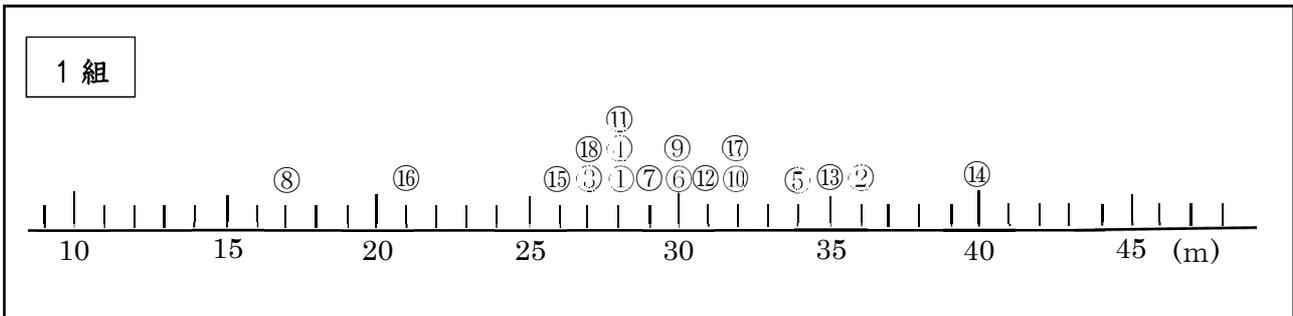
ソフトボール投げの記録（1組）

番号	きょり (m)	番号	きょり (m)
①	28	⑪	28
②	36	⑫	31
③	27	⑬	35
④	28	⑭	40
⑤	34	⑮	26
⑥	30	⑯	21
⑦	29	⑰	32
⑧	17	⑱	27
⑨	30		
⑩	32		

ソフトボール投げの記録（2組）

番号	きょり (m)	番号	きょり (m)
①	24	⑪	36
②	22	⑫	35
③	24	⑬	35
④	40	⑭	29
⑤	18	⑮	32
⑥	35	⑯	23
⑦	19	⑰	22
⑧	33	⑱	34
⑨	31	⑲	17
⑩	42		

(1) 1組のソフトボール投げの記録を、数直線を使ってドットプロットに表しました。  
 同じように、2組のソフトボール投げの記録を、数直線を使ってドットプロット  
 に表しなさい。



1 1 - ⑫の問題で出された資料の記録とドットプロットを見て、次の( )に、言葉や数字を入れなさい。

(1) 資料の値の平均を( **平均値** )といいます。

$$1 \text{ 組の平均値} \cdots 531 \div 18 = 29.5 \text{ (m)}$$

$$2 \text{ 組の平均値} \cdots 551 \div 19 = 29 \text{ (m)}$$

(2) 資料の値で、いちばん大きい値のことを( **最大値** )といいます。また、いちばん小さい値のことを( **最小値** )といいます。

最大値と最小値の差を、ちらばりの( **範囲** )といいます。

$$1 \text{ 組の最大値 ( 40 ) m, 最小値 ( 17 ) m, ちらばりの範囲 ( 23 ) m}$$

$$2 \text{ 組の最大値 ( 42 ) m, 最小値 ( 17 ) m, ちらばりの範囲 ( 25 ) m}$$

(3) 資料の値を大きさの順にならべたとき、ちょうど真ん中の値を、( **中央値** )といいます。資料の数が偶数のときは、真ん中の2つの値の平均を( **中央値** )とします。

$$1 \text{ 組の中央値は, 9番目と10番目の記録の平均だから, 1組 ( 29.5 ) m}$$

$$2 \text{ 組の中央値は, 10番目の記録だから, 2組 ( 31 ) m}$$

(4) 資料の値の中で、いちばん多い値を( **最頻値** )といいます。

$$1 \text{ 組の最頻値は, ( 28 ) m}$$

$$2 \text{ 組の最頻値は, ( 35 ) m}$$

(5) 平均値, 中央値, 最頻値のように、資料の特徴を表す値を( **代表値** )といいます。

2 1組と2組では、どちらの記録がよいか比べました。次のア, イ, ウ, エでは、どの比べ方がよいでしょうか。

ア <合計で比べる>

$$1 \text{ 組の合計} \cdots 531 \text{ m}$$

$$2 \text{ 組の合計} \cdots 551 \text{ m}$$

だから, 記録がよいのは2組

イ <平均で比べる>

$$1 \text{ 組の平均} \cdots 29.5 \text{ (m)}$$

$$2 \text{ 組の平均} \cdots 29 \text{ (m)}$$

だから, 記録がよいのは1組

ウ <最大値で比べる>

$$1 \text{ 組の最大値} \cdots 40 \text{ m}$$

$$2 \text{ 組の最大値} \cdots 42 \text{ m}$$

だから, 記録がよいのは2組

エ <最頻値で比べる>

$$1 \text{ 組の最頻値} \cdots 28 \text{ m}$$

$$2 \text{ 組の最頻値} \cdots 35 \text{ m}$$

だから, 記録がよいのは2組

( 答え イ )

1 次の問題に答えなさい。

(1) 下の表は1 - ㉔でつくったドットプロットを見て、1組と2組の記録を、散らばりの様子がわかりやすいように整理したものです。

1組の例を参考にして、2組を表に整理して( )の中にそれぞれ人数をかきましよう。

ソフトボール投げの記録 (1組)

きょり (m)	人数 (人)
15以上～20未満	1
20以上～25未満	1
25以上～30未満	7
30以上～35未満	6
35以上～40未満	2
40以上～45未満	1
合計	18

ソフトボール投げの記録 (2組)

きょり (m)	人数 (人)
15以上～20未満	( 3 )
20以上～25未満	( 5 )
25以上～30未満	( 1 )
30以上～35未満	( 4 )
35以上～40未満	( 4 )
40以上～45未満	( 2 )
合計	( 19 )

(2) 次の( )に言葉を入れなさい。

① 上の表のように区切った1つ1つの区間を( 階級 )といいます。

② それぞれの階級に入る資料の数を( 度数 )といいます。

③ このように整理した表を( 度数分布表 )といいます。

(3) 30 m以上35 m未満の階級は、それぞれの組に何人いるでしょうか。

(1組 6人 ) (2組 4人 )

(4) 投げた距離が30 m以上の人の数は、それぞれの組に何人いるでしょうか。

(1組 9人 ) (2組 10人 )

(5) 投げた距離が25 m未満の人の数は、それぞれの組に何人いるでしょうか。

(1組 2人 ) (2組 8人 )

(6) それぞれの組で、いちばん人数が多い階級とその人数を答えなさい。

1組 ( 25 ) m以上 ( 30 ) m未満 ( 7 ) 人

2組 ( 20 ) m以上 ( 25 ) m未満 ( 5 ) 人

下の表は、ある学校の5年生と6年生の1日の家庭学習の時間をしらべたものです。

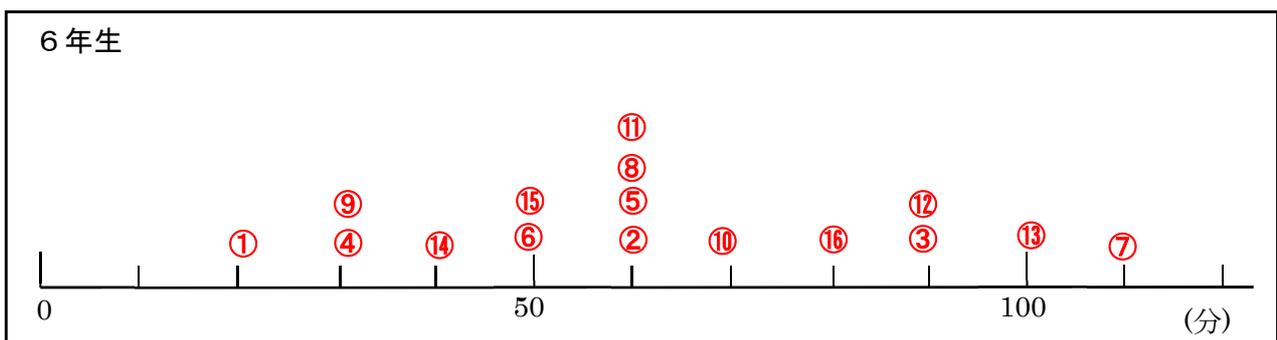
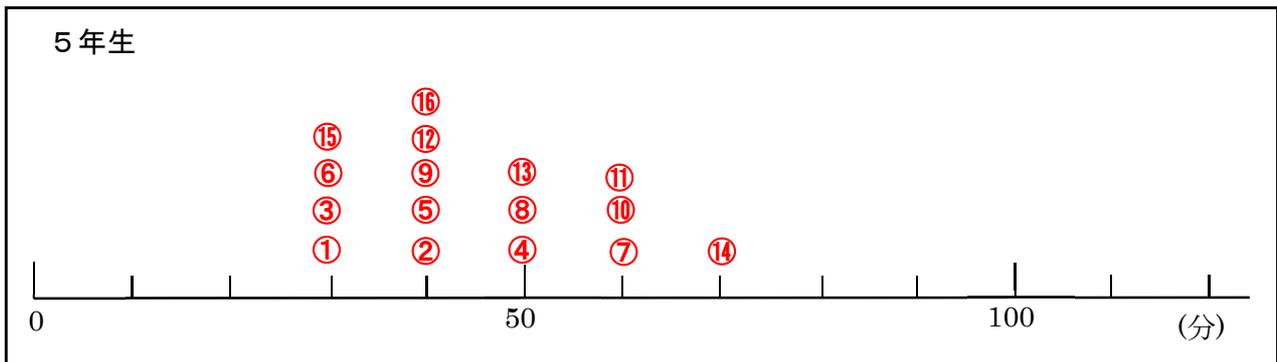
5年生

番号	学習時間 (分)	番号	学習時間 (分)
①	30	⑨	40
②	40	⑩	60
③	30	⑪	60
④	50	⑫	40
⑤	40	⑬	50
⑥	30	⑭	70
⑦	60	⑮	30
⑧	50	⑯	40

6年生

番号	学習時間 (分)	番号	学習時間 (分)
①	20	⑨	30
②	60	⑩	70
③	90	⑪	60
④	30	⑫	90
⑤	60	⑬	100
⑥	50	⑭	40
⑦	110	⑮	50
⑧	60	⑯	80

(1) 5年生と6年生のそれぞれの学習時間を、下の数直線を使ってドットプロットに表しなさい。



(2) 5年生と6年生のそれぞれの学習時間の平均値、中央値、最頻値を求めなさい。

	5年生	6年生
平均値	45	62.5
中央値	40	60
最頻値	40	60

1 - ⑮ の問題の資料を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 1 - ⑮ でつくったドットプロットを見て、5年生と6年生のそれぞれの1日の学習時間を下の表に整理しなさい。

1日の家庭学習の時間

家庭学習 (分)	5年生 (人)	6年生 (人)
0以上～20未満	0	0
20以上～40未満	4	3
40以上～60未満	8	3
60以上～80未満	4	5
80以上～100未満	0	3
100以上～120未満	0	2
合 計	16	16

(2) 上のような表をなんといいますか。

( 度数分布表 )

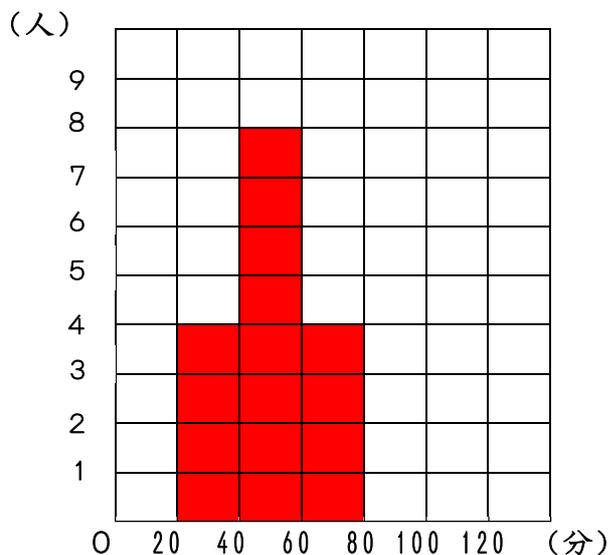
(3) 度数がいちばん多い (人数がいちばん多い) のは、それぞれのどの階級ですか。

(5年生 40以上～60未満) , (6年生 60以上～80未満)

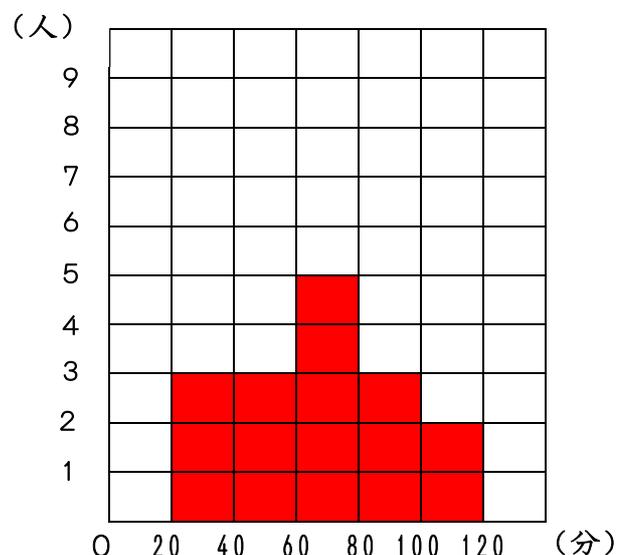
(4) 5年生と6年生の1日の家庭学習の時間について、ちらばりのようすを

ちゅうじょう  
柱状グラフ (ヒストグラム) に表しなさい。

家庭学習の時間 (5年生)



家庭学習の時間 (6年生)



下の表は6年1組と2組でしゅうかくしたかぼちゃを、重さごとにちらばりのようすがわかりやすい表に整理したものです。

かぼちゃ1個の重さ (1組)

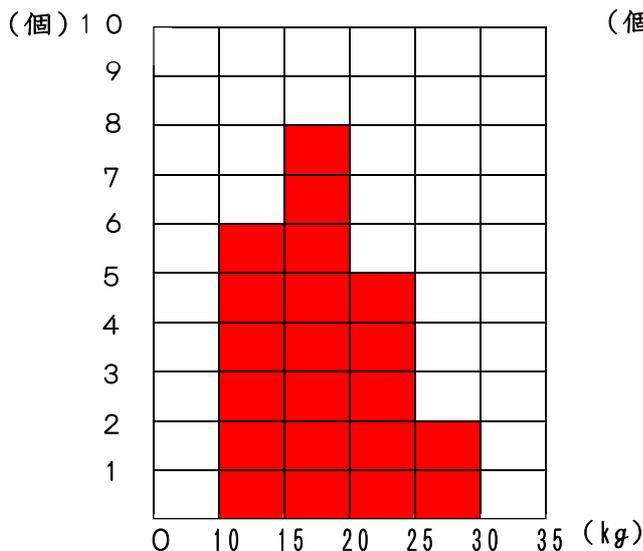
かぼちゃ1個の重さ (kg)	個数 (個)
10 kg以上～15 kg未満	6
15 kg以上～20 kg未満	8
20 kg以上～25 kg未満	5
25 kg以上～30 kg未満	2
合 計	21

かぼちゃ1個の重さ (2組)

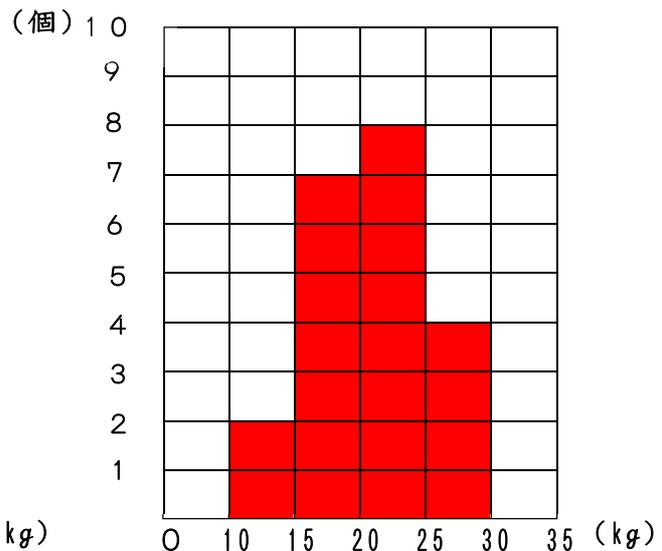
かぼちゃ1個の重さ (kg)	個数 (個)
10 kg以上～15 kg未満	2
15 kg以上～20 kg未満	7
20 kg以上～25 kg未満	8
25 kg以上～30 kg未満	4
合 計	21

- (1) 1組と2組のしゅうかくしたかぼちゃの数について、重さ別に柱状グラフ (ヒストグラム) に表しましょう。

かぼちゃ1個の重さ (1組)



かぼちゃ1個の重さ (2組)



- (2) 15 kg以上25 kg未満の重さのかぼちゃは、それぞれ何個ありますか。

(1組 13個) (2組 15個)

- (3) それぞれの組で、中央値のかぼちゃは何 kg以上何 kg未満の階級に入るでしょうか。

(1組 15 kg以上～20 kg未満) (2組 20 kg以上～25 kg未満)

- (4) それぞれの組で重さが25 kg未満のかぼちゃの数は何個ですか。

(1組 19個) (2組 17個)

1 表を見て、考えましょう。

ゆきさんは、学級で1か月のおこづかいをいくらもらっているかを24人にアンケート調査しました。24人分の合計金額は51000円でした。

(1) 平均を求めましょう。

式  $51000 \div 24 = 2125$

答え 2125円

1か月のおこづかい(円)

2000	3000	1000	500	1000	2000
1500	1000	0	5000	2000	1200
3000	1800	1000	0	2000	6000
10000	3000	2000	500	0	1500

(2) 右の表に、人数をかきましよう。

(3) 人数がいちばん多いのは、どのはんいですか。  
また、それは全体の約何%ですか。

1000円以上2000円未満

$$100 \times \frac{8}{24} = 33.333 \dots$$

全体の約33%

おこづかいの金額(円)	人数
0(以上) ~ 1000(未満)	5
1000 ~ 2000	8
2000 ~ 3000	5
3000 ~ 4000	3
4000 ~ 5000	0
5000 ~	3

(4) ちらばりの様子をグラフに表しましょう。

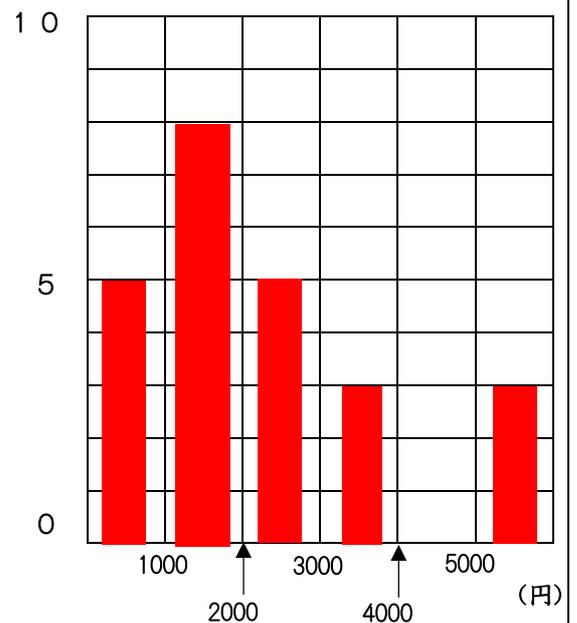
(5) グラフだけを見て、求められるものには○を、求められないものには×をつけましよう。

あ ( ○ ) 2000円未満の人数の割合

い ( × ) 平均の金額

う ( ○ ) 5000円以上の人数の割合

(人) おこづかいの金額と人数



1 コーヒーを5Lと牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>を3Lまぜて、コーヒー牛乳を作ります。

次の問題をときましよう。

(1) コーヒーの量を5とみると、牛乳の量はいくつとみることができますか。  
( 3 )

(2) コーヒーと牛乳の量の割合<sup>わりあい</sup>を比で表しなさい。  
( 5 : 3 )

(3) コーヒーの量は、牛乳の量の何倍になっているかを分数で表しなさい。  
(  $\frac{5}{3}$  )

(4) (3) で求めた数のことを何といいますか。  
( 比の値 )

2 次の比の、比の値を求めましよう。比の値が約分できるときは、約分ましよう。

(1) 3 : 7 (  $\frac{3}{7}$  ) (2) 5 : 8 (  $\frac{5}{8}$  ) (3) 6 : 7 (  $\frac{6}{7}$  )

(4) 20 : 15 (  $\frac{4}{3}$  ) (5) 14 : 21 (  $\frac{2}{3}$  ) (6) 3 : 15 (  $\frac{1}{5}$  )

3 比の値を求めて、等しい比を見つけれましよう。

① 4 : 8 (  $\frac{1}{2}$  ) ② 2 : 6 (  $\frac{1}{3}$  ) ③ 10 : 8 (  $\frac{5}{4}$  )

④ 3 : 9 (  $\frac{1}{3}$  ) ⑤ 5 : 4 (  $\frac{5}{4}$  ) ⑥ 25 : 50 (  $\frac{1}{2}$  )

◎ 等しい比 ( ①と⑥ ) ( ②と④ ) ( ③と⑤ )

4 次の比の、両方に同じ数の3をかけて、等しい比をつくりましよう。

$$1 : 2 = ( 3 : 6 )$$

5 次の比の、両方を同じ数6で割り、等しい比をつくりましよう。

$$6 : 12 = ( 1 : 2 )$$

6 4 : 6と等しい比を、3つつくりましよう。

( 2 : 3 ) ( 6 : 9 ) ( 8 : 12 ) ( 10 : 15 ) ( 12 : 18 ) ( 14 : 21 ) … など

1 次の割合を比で表しましょう。また、そのときの比の値を求めましょう。

(1) 料理をするのに、みりんを大さじ3ばい、しょうゆを大さじ5ばい使ったときの、みりんとしょうゆの量の割合

$$\text{比 ( 3 : 5 )} \quad \text{比の値 ( } \frac{3}{5} \text{ )}$$

(2) たての長さが7cm、横の長さが6cmの長方形の、たての長さ<sup>と</sup>横の長さの割合

$$\text{比 ( 7 : 6 )} \quad \text{比の値 ( } \frac{7}{6} \text{ )}$$

2 次の比の値を求めましょう。比の値が約分できるときは、約分しましょう。

$$(1) 5 : 8 \quad \left( \frac{5}{8} \right) \quad (2) 2 : 7 \quad \left( \frac{2}{7} \right) \quad (3) 4 : 9 \quad \left( \frac{4}{9} \right)$$

$$(4) 20 : 60 \quad \left( \frac{1}{3} \right) \quad (5) 21 : 14 \quad \left( \frac{3}{2} \right) \quad (6) 15 : 6 \quad \left( \frac{5}{2} \right)$$

3 次の比の値を求めて、等しい比を見つけましょう。

$$\text{ア } 3 : 9 \quad \left( \frac{1}{3} \right) \quad \text{イ } 2 : 8 \quad \left( \frac{1}{4} \right) \quad \text{ウ } 8 : 20 \quad \left( \frac{2}{5} \right)$$

$$\text{エ } 3 : 12 \quad \left( \frac{1}{4} \right) \quad \text{オ } 6 : 15 \quad \left( \frac{2}{5} \right) \quad \text{カ } 8 : 24 \quad \left( \frac{1}{3} \right)$$

等しい比 ( ア と カ ) ( イ と エ ) ( ウ と オ )

4 次の比を<sup>かんたん</sup>簡単にしましょう。

$$(1) 4 : 12 \quad \left( 1 : 3 \right) \quad (2) 0.4 : 0.7 \quad \left( 4 : 7 \right)$$

$$(3) 1.8 : 2.7 \quad \left( 2 : 3 \right) \quad (4) 1.5 : 2 \quad \left( 3 : 4 \right)$$

$$(5) 3.2 : 4 \quad \left( 4 : 5 \right) \quad (6) \frac{7}{9} : \frac{2}{9} \quad \left( 7 : 2 \right)$$

$$(7) \frac{3}{4} : \frac{7}{8} \quad \left( 6 : 7 \right) \quad (8) \frac{2}{5} : \frac{2}{3} \quad \left( 3 : 5 \right)$$

1 次の比を簡単にしましょう。

(1)  $6 : 9$  (  $2 : 3$  ) (2)  $16 : 8$  (  $2 : 1$  )

(3)  $15 : 20$  (  $3 : 4$  ) (4)  $4 : 14$  (  $2 : 7$  )

(5)  $48 : 60$  (  $4 : 5$  ) (6)  $200 : 300$  (  $2 : 3$  )

2 次の比を簡単にしましょう。

(1)  $0.6 : 1.2$  (  $1 : 2$  ) (2)  $1.5 : 0.5$  (  $3 : 1$  )

(3)  $1.2 : 3$  (  $2 : 5$  ) (4)  $3 : 4.2$  (  $5 : 7$  )

(5)  $0.21 : 0.28$  (  $3 : 4$  ) (6)  $\frac{3}{4} : \frac{7}{12}$  (  $9 : 7$  )

(7)  $\frac{1}{6} : \frac{2}{9}$  (  $3 : 4$  ) (8)  $\frac{2}{5} : 2$  (  $1 : 5$  )

3 次の割合を簡単な整数の比で表しましょう。

(1) 赤いリボンが24m, 青いリボンが16mあるときの赤いリボンの長さ  
と青いリボンの長さの割合

(  $3 : 2$  )

(2) たての長さが7cmで面積が $35\text{cm}^2$ の長方形のたての長さ  
と横の長さの割合

(  $7 : 5$  )

4 さくらさんたち3人は、それぞれ下の表のように、すとサラダ油を混ぜて  
ドレッシングを作りました。

だれとだれのドレッシングが、  
同じ味になるといえるでしょうか。

	す	サラダ油
さくら	20mL	50mL
みゆき	大さじ8はい	大さじ22はい
けいた	スプーン4はい	スプーン10はい

( さくらとけいた )

\*それぞれのすとサラダ油の割合を比で表すと・・・

さくら  $2 : 5$

みゆき  $4 : 11$

けいた  $2 : 5$

1 画用紙に、たてと横の長さの比が5 : 9の長方形を書きます。たての長さを20 cmにすると、横の長さは何cmになるかを求めます。次の問いに答えましょう。

(1) 横の長さを  $x$  cmとして、式に表しましょう。

$$\text{たての長さ} : \text{横の長さ} = 5 : 9 = ( 20 : x )$$

(2) 横の長さを求めましょう。

$$( \text{横の長さ } 36 \text{ cm} )$$

2  $x$  にあてはまる数を求めましょう。

$$(1) 7 : 2 = x : 8 \quad ( x = 28 )$$

$$(2) 12 : 30 = 2 : x \quad ( x = 5 )$$

3 <sup>さとう</sup>砂糖と小麦粉の重さの比を2 : 5にしてケーキをつくります。

小麦粉を200gにすると、砂糖は何gいらいますか。

$$( 2 : 5 = x : 200 ) \quad ( 80g )$$

4 黄色と青色のペンキを、体積の比が4 : 5になるように混ぜ合わせて、緑色のペンキをつくります。

黄色のペンキを16 L使うとすると、青色のペンキは何L使うことになるでしょう。

$$( 4 : 5 = 16 : x ) \quad ( 20L )$$

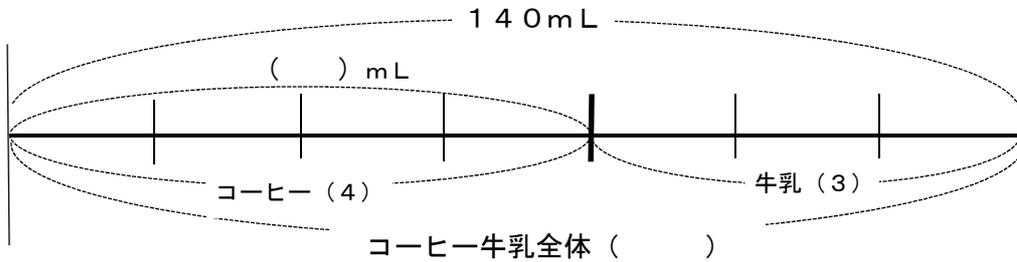
5 マリンパークの、ある日の入館者数は、男の人と女の人の人数の比が5 : 6で、女の方は270人だったそうです。

男の方は何人だったでしょう。

$$5 : 6 = x : 270$$

$$x = 270 \times \frac{5}{6} \quad ( 225人 )$$

- 1 コーヒーと牛乳をまぜてコーヒー牛乳を140mLつくります。  
 コーヒーと牛乳を4:3の割合でまぜるときコーヒーの量は何mL必要ですか。  
 下の線分図を見て、次の問いに答えましょう。

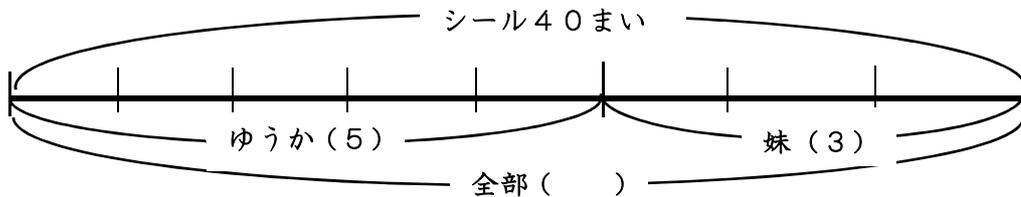


- (1) コーヒーの量を4, 牛乳の量を3とみると, コーヒー牛乳全体の量はいくつとみることができますか。 ( 7 )
- (2) コーヒーの量は, コーヒー牛乳全体の量の, 何分のいくつにあたりますか。 (  $\frac{4}{7}$  )
- (3) コーヒーの量とコーヒー牛乳全体の量の比を書きましょう。  
 (コーヒーの量: コーヒー牛乳全体の量 = 4 : 7 )
- (4) コーヒーの量をx mL, コーヒー牛乳全体の量を140mLとして, xを使った比を書きましょう。  
 (コーヒーの量: コーヒー牛乳全体の量 = 4 : 7 = x : 140 )
- (5) コーヒーの量 (xの値) を求めましょう。

$$x = 140 \times \frac{4}{7} = 80$$

(コーヒーの量 80 mL )

- 2 シール40まいをゆうかさんと妹で分けます。  
 ゆうかさんと妹のまい数の比が5:3になるようにすると, 妹のまい数は何枚になるかを求めます。下の線分図を見て, 次の問いに答えましょう。



- (1) ゆうかさんのまい数を5, 妹のまい数を3とみると, 全部のまい数の40まいは, いくつとみられるでしょう。

$$40 \times \frac{3}{8} = 15$$

( 8 )

- (2) 妹のまい数は何まいになるでしょう。

( 15まい )

1  $x$  にあてはまる数を求めましょう。

- (1)  $3 : 4 = x : 36$  (  $x = 27$  )  
 (2)  $7 : 5 = 21 : x$  (  $x = 15$  )  
 (3)  $18 : 42 = 3 : x$  (  $x = 7$  )

2 画用紙に、たてと横の長さの比が  $3 : 4$  になるように長方形を書きます。  
 横の長さを  $24\text{ cm}$  にすると、たての長さは何  $\text{cm}$  になりますか。

$$3 : 4 = x : 24 \quad x = 24 \times \frac{3}{4} = 18$$

(  $18\text{ cm}$  )

3 あるクラスの人気数は、 $33$  人です。男子の人数と女子の人数の比は  $5 : 6$  になっています。男子と女子の人数は、それぞれ何人でしょう。

$$\begin{array}{l} \text{男子} \quad 33 \times \frac{5}{11} = 15 \\ \text{女子} \quad 33 - 15 = 18 \end{array}$$

男子を  $x$  人とする  $5 : 11 = x : 33$

(男子  $15$  人) (女子  $18$  人)

4 ある日の昼の長さや夜の長さの比は、 $7 : 5$  になっていました。  
 昼と夜の長さは、それぞれ何時間だったでしょう。

昼の長さを  $x$  とすると

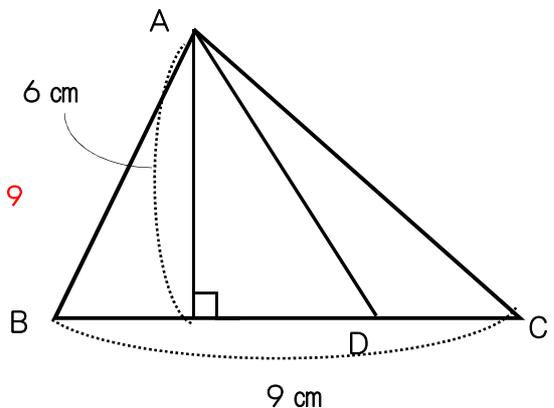
$$\begin{array}{l} 7 : 12 = x : 24 \quad \text{昼} \quad 24 \times \frac{7}{12} = 14 \\ \text{夜} \quad 24 - 14 = 10 \end{array}$$

(昼  $14$  時間 夜  $10$  時間)

5 右の図の三角形  $ABC$  について、辺  $BC$  を  $BD : DC = 2 : 1$  になるように分ける点  $D$  をかきました。

(1) 辺  $BD$  と辺  $DC$  の長さはそれぞれ何  $\text{cm}$  ですか。 \*  $BD$  の長さを  $x$  とすると  $2 : 3 = x : 9$

(  $BD$   $6\text{ cm}$   $DC$   $3\text{ cm}$  )



(2) 三角形  $ABD$  と三角形  $ADC$  の面積をそれぞれ求め、面積の比を求めましょう。

(三角形  $ABD$  の面積  $18\text{ cm}^2$  三角形  $ADC$  の面積  $9\text{ cm}^2$ )

\*  $18 : 9$

(  $2 : 1$  )

- 1 Sサイズのカップに200 mLのジュースが入っています。SサイズとLサイズのカップに入っているジュースの体積比は5 : 7です。

Lサイズのカップに入っているジュースは何mLですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 200 \times \frac{7}{5} = 280$$

Lサイズのジュースの体積を $x$ としたら、  
体積比は $5 : 7 = 200 : x$

〈答え〉 280 mL

- 2 縦と横の長さの比が7 : 10の畑を作ります。縦の長さを21 mにすると、横の長さは何mになりますか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 21 \times \frac{10}{7} = 30$$

横の長さを $x$ としたら、 $7 : 10 = 21 : x$

〈答え〉 30 m

- 3 りんごジャムを作るのに、りんごと砂糖を重さの比が4 : 3になるように用意します。500 gのりんごを使うとき、何gの砂糖が必要ですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 500 \times \frac{3}{4} = 375$$

砂糖の重さを $x$ としたら、 $4 : 3 = 500 : x$

〈答え〉 375 g

- 4 電車で56人の乗客が乗っています。立っている人と座っている人の人数の比は2 : 5です。立っている人は何人ですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 56 \times \frac{2}{7} = 16$$

立っている人と座っている人の人数比は2 : 5なので、  
全体は7とみることができる。立っている人の比は2な  
ので、56人の7分の2が立っている人と考えられる。

〈答え〉 16人

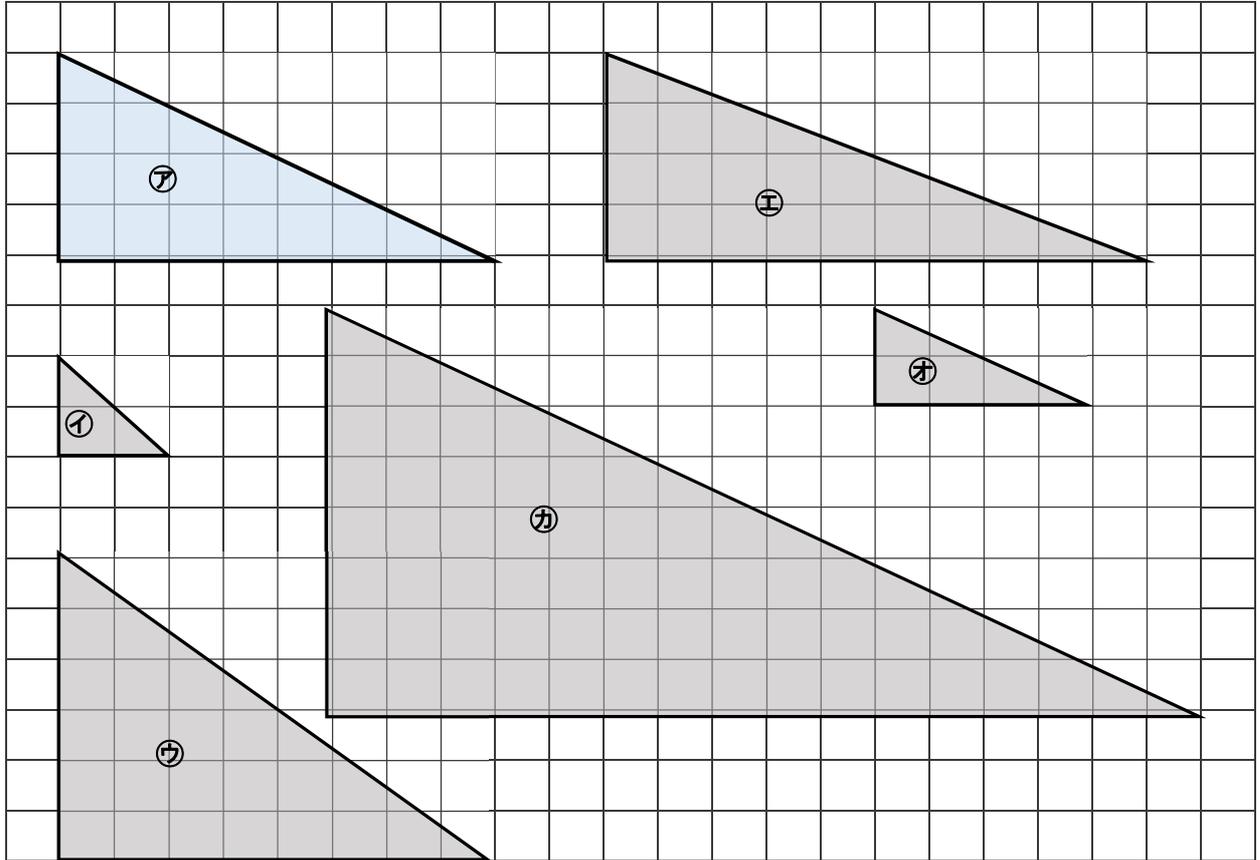
- 5 たかしさんの小学校の児童数は675人で、男子と女子の人数の比は7 : 8です。女子の人数は何人ですか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 675 \times \frac{8}{15} = 360$$

男子と女子の人数比は7 : 8なので、全体は15とみること  
ができる。女子の比は8なので、児童数の15分の8が  
女子と考えることができる。

〈答え〉 360人

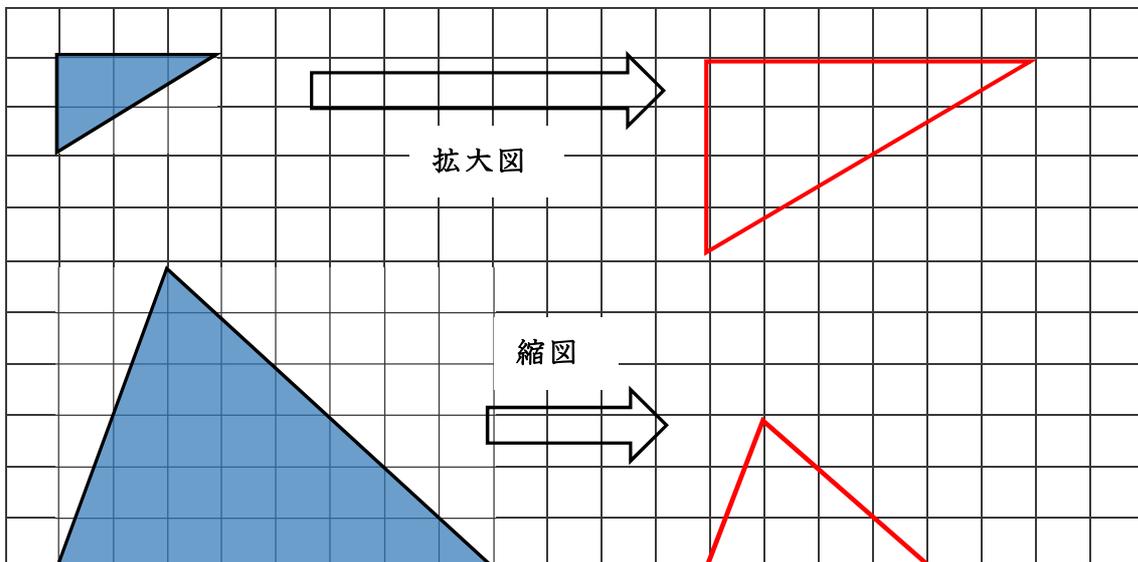
1 下の図で、㉑の拡大図，縮図になっているのはどれですか。  
また，それは何倍の拡大図，何分の一の縮図ですか。



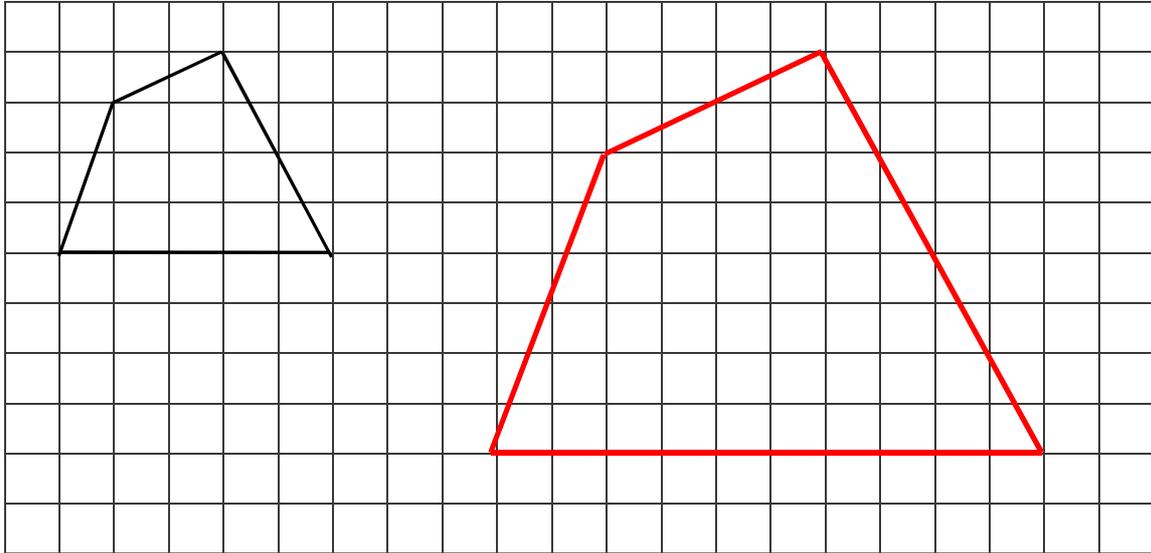
拡大図 ( ㉔ 2倍 )

縮図 ( ㉓  $\frac{1}{2}$  )

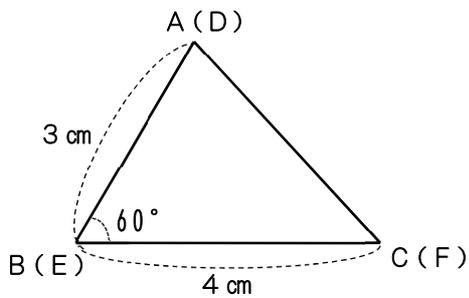
2 方眼を利用して，下のそれぞれの三角形の2倍の拡大図と $\frac{1}{2}$ の縮図をかきましょう。



1 下の四角形の2倍の拡大図をかきましょう。



2 下の三角形ABCを2倍に拡大した、三角形DEFのかき方を考えます。



(1) 辺ABに対応する辺DEの長さを何cmにすればよいですか。

( 6 cm )

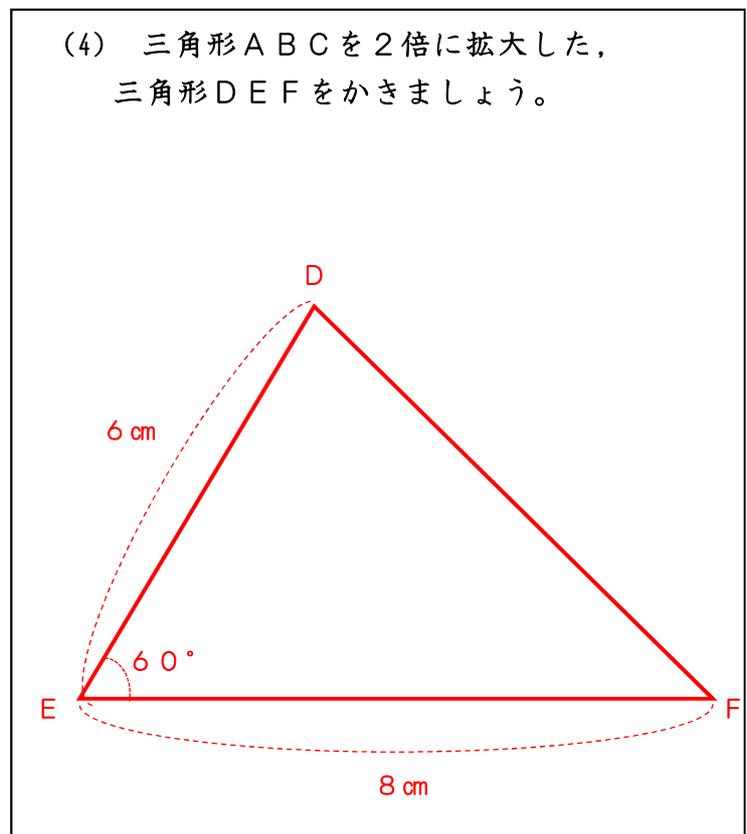
(2) 辺BCに対応する辺EFの長さを何cmにすればよいですか。

( 8 cm )

(3) 角Bに対応する角Eの大きさを何度にするればよいですか。

( 60° )

(4) 三角形ABCを2倍に拡大した、三角形DEFをかきましょう。



1 次の三角形DEFは、三角形ABCの縮図です。

(1) 何分の一の縮図になっているでしょう。

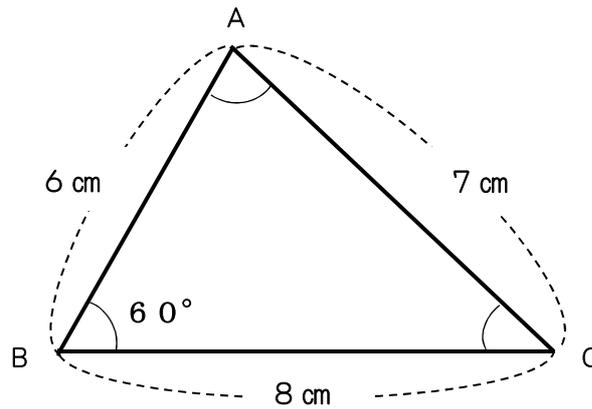
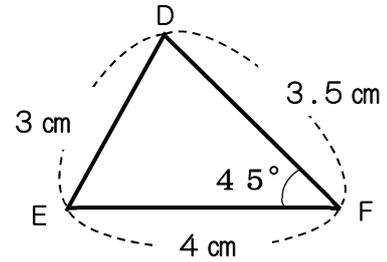
(  $\frac{1}{2}$  )

(2) 角Cと角Aの大きさを求めましょう。

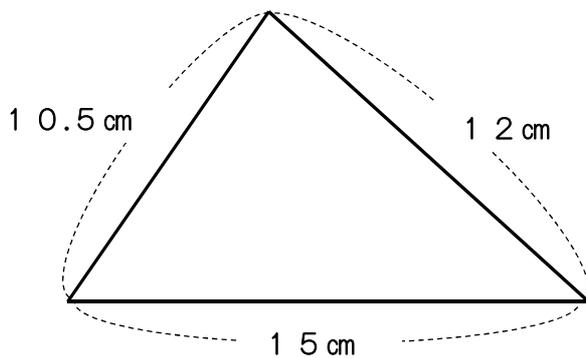
(分度器を使わずに)

(角C  $45^\circ$  )

(角A  $75^\circ$  )

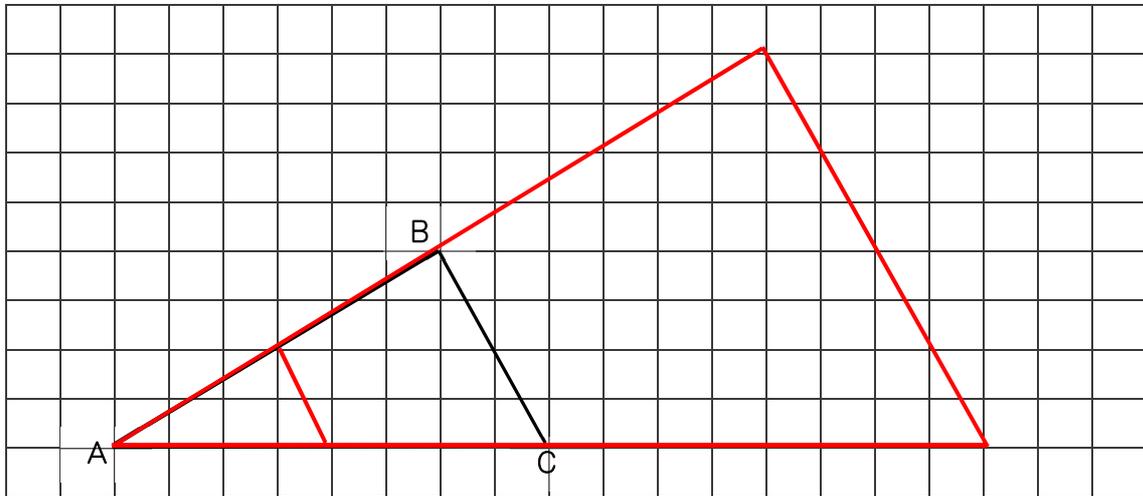


2 下の三角形の $\frac{1}{3}$ の縮図を  の中にかきましょう。



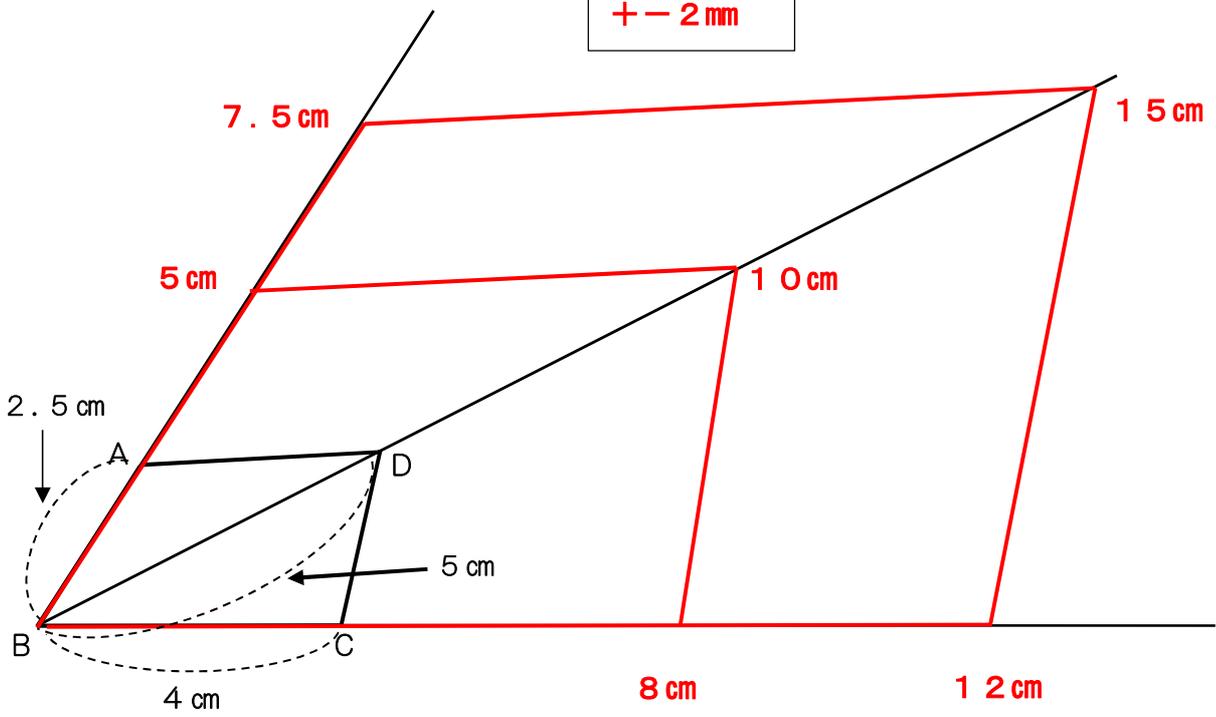
☆ 誤差は $\pm 2$  mm以下

1 下の三角形ABCの頂点Aを中心にした2倍の拡大図と $\frac{1}{2}$ の縮図をかきましょう。



2 下の四角形(ABCD)で、Bを中心にした2倍と3倍の拡大図をかきましょう。

誤差  
 ± 2 mm



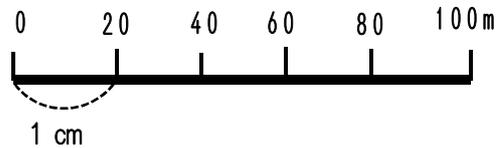
◎ 実際の長さを<sup>ちぢ</sup>縮めた割合のことを<sup>しゅくしゃく</sup>縮尺といいます。

縮尺には、次のような表し方があります。

①  $\frac{1}{2000}$

② 1 : 2000

③



上のように  $\frac{1}{2000}$  の縮尺は、20 m (2000 cm) の長さを 1 cm に縮めて表すことです。

1 下の  にあてはまる数を書いて、(1)~(3) の縮尺の問題に答えましょう。

(1) 4 m の長さを、縮尺  $\frac{1}{100}$  で表すと、何cm になるかを次のように計算しました。

$$4 \text{ m} = \boxed{400} \text{ cm} \quad \boxed{400} \div 100 = \boxed{4}$$

(答え 4 cm)

(2) 900 m を 3 cm に縮めて表しました。この縮尺を分数で表しましょう。

$$900 \text{ m} = 90000 \text{ cm}$$

$$3 \div \boxed{90000} = \frac{3}{\boxed{90000}} = \frac{1}{\boxed{30000}}$$

(答え  $\frac{1}{30000}$ )

(3) 3 km を 3 cm に縮めて表しました。この縮尺を分数で表しましょう。

$$3 \text{ km} = \boxed{3000} \text{ m} = \boxed{300000} \text{ cm}$$

$$3 \div \boxed{300000} = \frac{3}{\boxed{300000}} = \frac{1}{\boxed{100000}}$$

(答え  $\frac{1}{100000}$ )

1  にあてはまる数をかきましょう。

$$7 \times 1000 = 7000 \text{ cm}$$

$$7000 \text{ cm} = 70 \text{ m}$$

(1)  $\frac{1}{1000}$  の縮図上に7 cmで表されている長さは、実際には、  mです。

(2) 実際の長さ600 mが、6 cmの長さで表されている地図の縮尺は、

1 :  です。

$$600 \text{ m} = 60000 \text{ cm}$$

$$6 \div 60000 = \frac{6}{60000} = \frac{1}{10000}$$

(3) 実際の長さ8 kmは、 $\frac{1}{20000}$  の縮尺の地図上では、  cmで表されます。

$$8 \text{ km} = 80000 \text{ cm}$$

$$80000 \times \frac{1}{20000} = 40 \text{ (cm)}$$

2 右の図のような木の高さを求める方法を考えました。

直接、木の高さをはかることができないので、木のかげの長さをはかったところ、木のかげの長さは12 mでした。

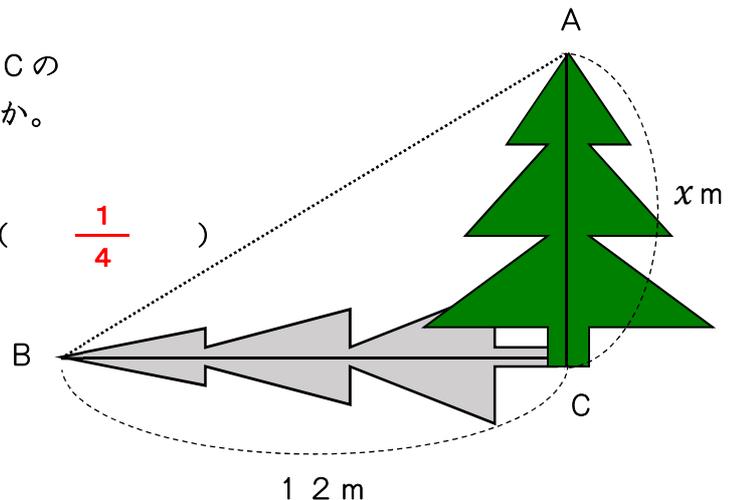
同じ日の同じ時こくに、2 mのぼうのかげの長さは3 mでした。

(1) 三角形DEFは、三角形ABCの何分の一の縮図になっていますか。

BCの長さ12 m, EFの長さ3 mなので、

$$3 \div 12 = \frac{3}{12} = \frac{1}{4}$$

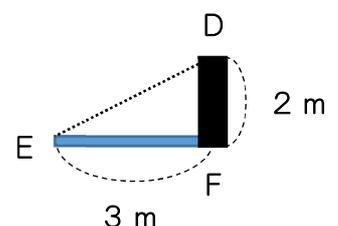
(  )



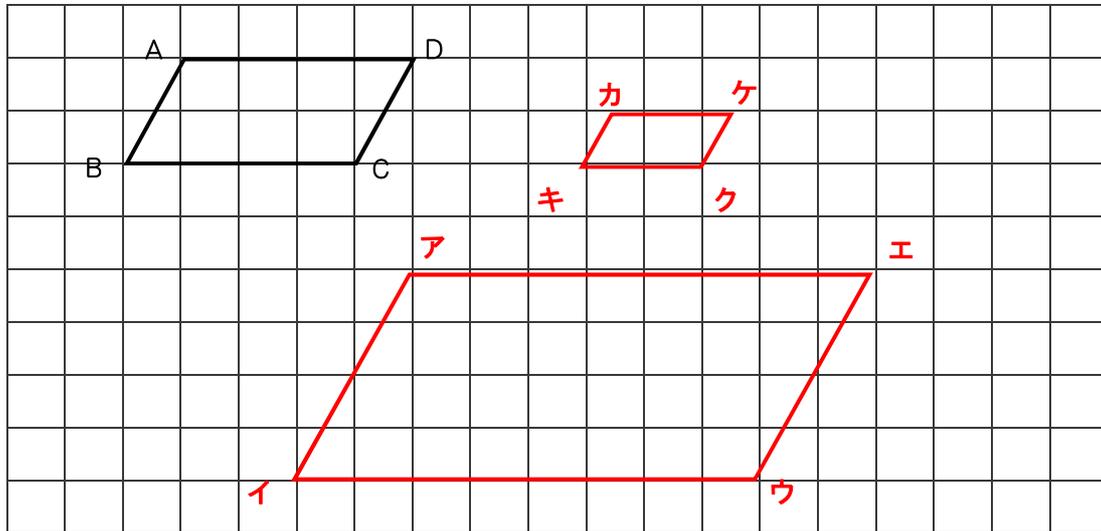
(2) 木の実際の高さは、何mでしょう。

$$x \times \frac{1}{4} = 2 \quad x = 8$$

(  )



- 1 下の平行四辺形A B C Dを2倍に拡大した平行四辺形アイウエをかきましょう。  
 また、 $\frac{1}{2}$ に縮めた平行四辺形カキクケをかきましょう。

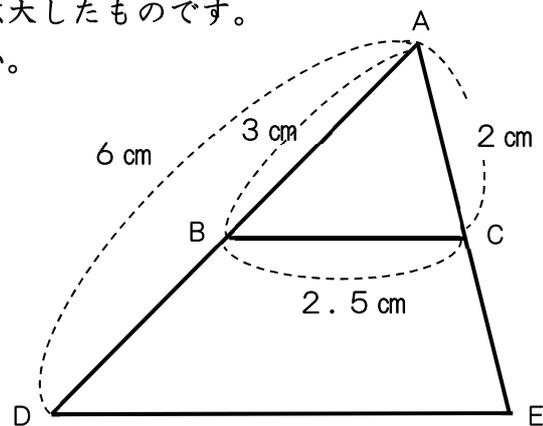


- 2 右の図の三角形A D Eは、三角形A B Cを拡大したものです。  
 辺A E、辺D Eの長さはそれぞれ何cmですか。

( 辺 A E 4 cm )

( 辺 D E 5 cm )

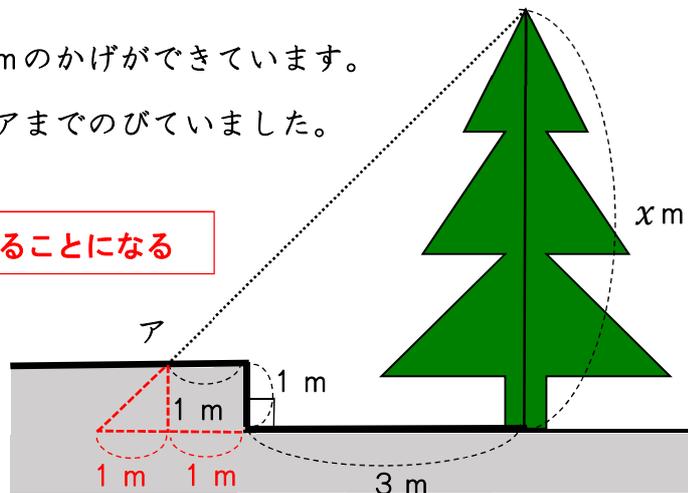
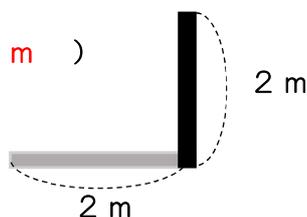
三角形A D Eは、三角形A B Cの  
2倍の拡大図になっている



- 3 <sup>すいちよく</sup>垂直に立てた2mの<sup>ぼう</sup>棒に、長さ2mのかげができています。  
 このとき、右の図の木のかがが、アまでのびていました。  
 この木の長さは何mでしょう。

段差がなかったら、もう1mのびることになる

( 5 m )



右の図はある工場の縮図です。アイの長さは6 cm, イウの長さは8 cmです。

- ①この縮図の縮尺しゅくしゃくを求めましょう。

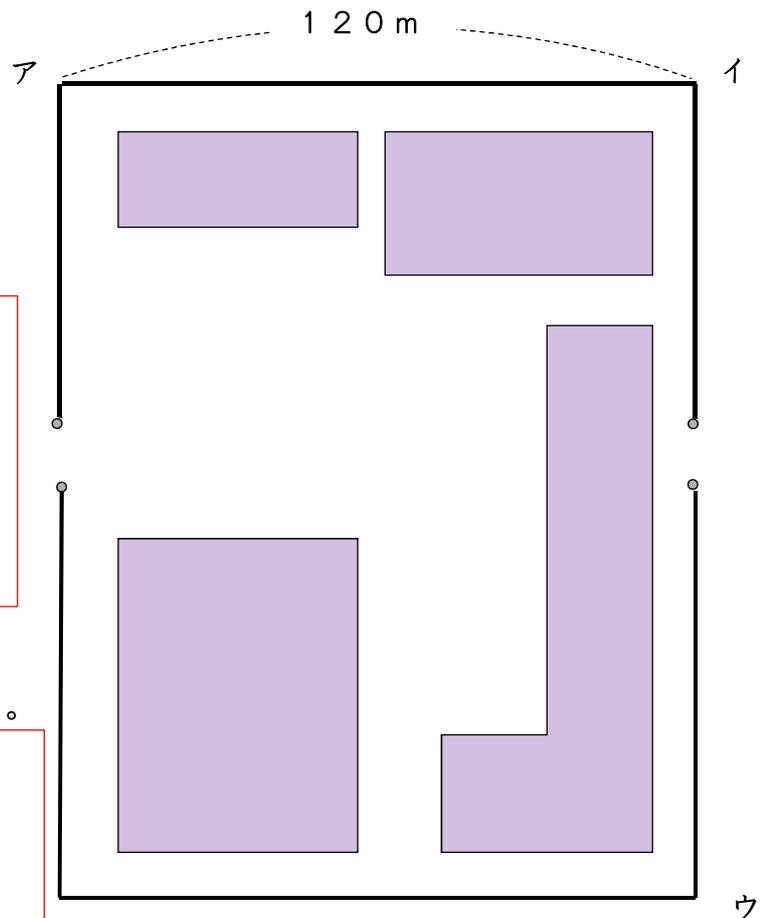
実際の長さ120 mが6 cmで表されているので、  
 $6 \div 12000$ で求められる。

〈答え〉  $\frac{1}{2000}$

- ②縮図全体を長方形とみて、縮図の面積を求めましょう。

$8 \times 6 = 48$

〈答え〉  $48 \text{ cm}^2$



- ③実際の長さを求めて、工場の面積を求めましょう。

イウの実際の長さは、 $8 \times 2000 = 16000$ ,  $16000 \text{ cm} = 160 \text{ m}$   
 $160 \times 120 = 19200$

〈答え〉  $19200 \text{ m}^2$

- ④工場の面積は縮図の面積の何倍ですか。また、縮尺とどのような関係があるか、調べましょう。

$19200 \text{ m}^2 = 192000000 \text{ cm}^2$

$192000000 \div 48 = 4000000$       〈答え〉 4000000倍

縮尺との関係は、縮尺の逆数を2回かけた数になる。(2000×2000)

- 1 1袋5個入りの大福と4個入りの大福が売られています。子ども会で大福を34個買います。ちょうど数を買える買い方をみつけましょう。

- ① 下の表を完成させましょう。

5個入りの袋	袋の数	0	1	2	3	4	5	6	7
	大福の数	0	5	10	15	20	25	30	35
残り的大福の数		34	29	24	19	14	9	4	×
4個入りの袋の数		×	×	6	×	×	×	1	×

- ② ちょうど数を買える買い方をすべて答えましょう。

〈答え〉

5個入り2袋、4個入り6袋

5個入り6袋、4個入り1袋

- 2 1枚120円のカードと1枚100円のカードが、あわせて50枚売れました。カード50枚の売上高は、5300円でした。120円のカードと100円のカードは、それぞれ、何枚売れましたか。

- ① 下の表を完成させて考えましょう。

120円のカード(枚)	5	10	15	20
100円のカード(枚)	47	41	35	29
合計(円)	5300	5300	5300	5300

- ② それぞれ、何枚売れたか答えましょう。

〈答え〉

120円のカードが15枚と100円のカードが35枚売れた

